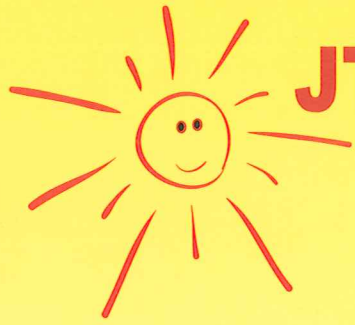
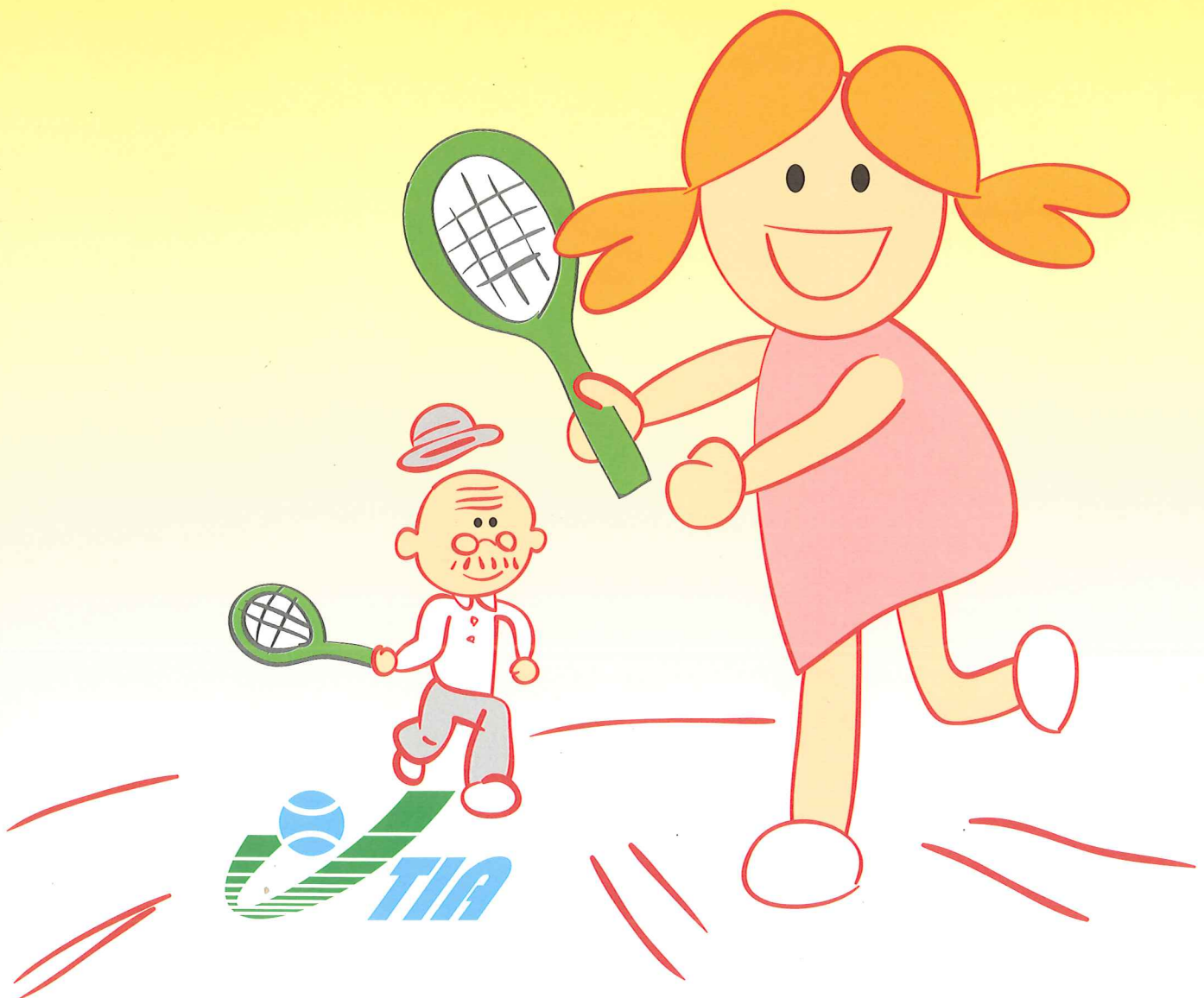
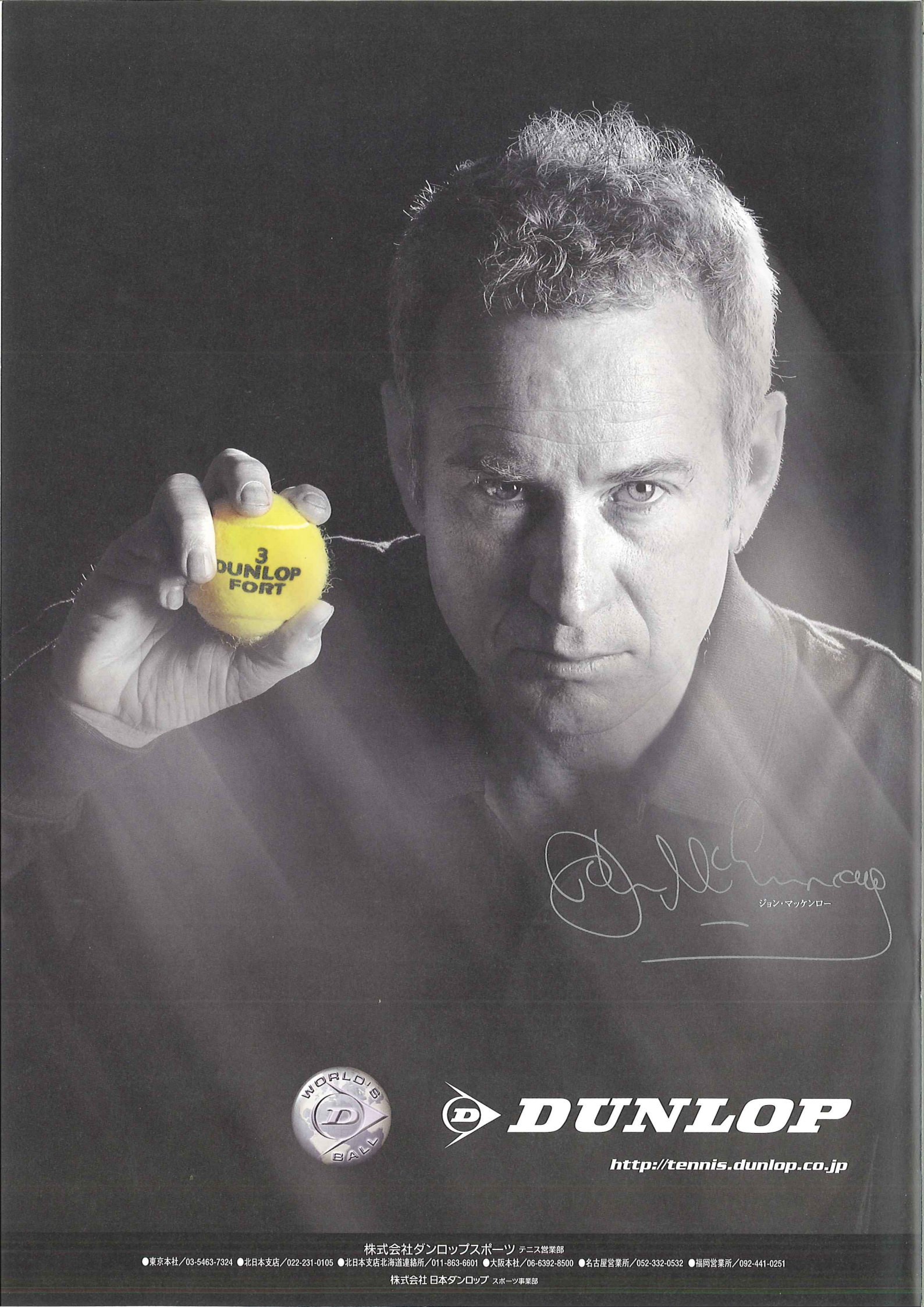


JTIA News!

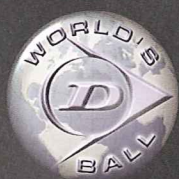


JTIA NEWS! 10周年記念特別号





John McEnroe
ジョン・マッケンロー



DUNLOP

<http://tennis.dunlop.co.jp>

株式会社ダンロップスポーツ テニス営業部
●東京本社/03-5463-7324 ●北日本支店/022-231-0105 ●北日本支店北海道連絡所/011-863-6601 ●大阪本社/06-6392-8500 ●名古屋営業所/052-332-0532 ●福岡営業所/092-441-0251
株式会社 日本ダンロップ スポーツ事業部

JTIA News! 10周年記念特別号

目次

・ご挨拶	社団法人日本テニス事業協会 会長 雑賀 昇	- 2
・祝 辞	経済産業省商務情報政策局 サービス産業課生涯学習振興室長 藤木 昌彦	- 3
	社団法人日本テニス事業協会 顧問 衆議院議員 石原 伸晃	- 4
	社団法人日本テニス事業協会 顧問 参議院議員 小野 清子	- 4
	財団法人日本テニス協会 会長 盛田 正明	- 5
	社団法人スポーツ産業団体連合会 会長 鬼塚 喜八郎	- 5
	社団法人日本プロテニス協会 理事長 渡辺 功	- 6
	日本女子テニス連盟 会長 宮城 黎子	- 6
	日本車いすテニス協会 理事長 芝田 耕太郎	- 6
	日本ラケット工業協同組合 理事長 米山 稔	- 6
・特別企画 対談	「プロテニスプレーヤー 松岡 修造氏に聞く」	- 7
・社団法人日本テニス事業協会10年の歩み		-10
・社団法人日本テニス事業協会の活動紹介のページ		
	1. 本協会が行ってきた税制への取り組みと今後の活動方針について	-14
	2. 公営コート問題について	-15
・特別寄稿		
	1. アメリカテニスクラブ事情	-16
	2. 東西テニスクラブ事情	-23
	3. 海外テニストピックス	-25
・社団法人日本テニス事業協会の概要		
	1. 役員名簿	-36
	2. 委員会および部会、地域・地区組織、賛助会員	-37
・協会の今後について	社団法人日本テニス事業協会 副会長 内藤 昇	-40

おかげさまで10周年！



社団法人日本テニス事業協会

社団法人日本テニス事業協会 会長 雑賀 昇



社団法人日本テニス事業協会が日本テニスクラブ連盟から発展的に移行設立され、10年を経過しました。

これも偏に会員を始め関係各位のご指導、ご支援の賜と深く感謝申し上げます。

この間の日本社会の変化はめまぐるしいもので、バブル経済の崩壊から深刻なデフレ経済を生み出し、私共に限って言えば消費者のレジジャーへの支出を押さえる指向となる一方、少子高齢化社会が進み、スポーツは多様化の方向となり、またバブル期に急増した公営施設、そして税制における固定資産税・相続税の評価額の急上昇等、まさに青天の霹靂と言っても過言ではありません。

この間、私ども事業者はテニス事業をサービス業と捉え、テニス愛好者へのサービスの充実を図る様々な努力を重ねて参りました。

その努力はスクール事業に於いて大幅な進展が見られ、テニススクール事業は総じて好調と言えます。特にインドアテニススクール事業は今後更に大きく発展すると予想されます。

一方会員制テニスクラブは前述の状況から、一部の堅調なクラブを除き大きく後退させられました。都心地では税制、郊外地では公営施設という経営努力のみでは解決しがたい非常に困難な問題があるからです。とは言え、私共は今日迄、テニス事業の拡大により多くのテニス人口増加・地域コミュニティーの場造り・青少年の教育等、豊かな国民生活の向上に貢献するのみならず、テニス界で活躍する有力選手をも多数輩出してきた自負心を誇りとして、今日まで培ったエネルギーでこの難局に対処したいと思います。

そこで、テニス事業に対して今日迄以上に、さらにサービス業として真摯に取り組みたいものです。

「愛好家の期待に応える、特色ある施設の充実」「多様な運営システムの開発」「事業にかかわる人材教育の徹底」「ニーズに合わせた適正な料金体系」「地域社会に対する様々なサービスの充実」等の面で努力をしなければ成りません。

難しいことはこのサービスへの努力が画一的なものではないことです。それぞれの事業所在地に適合したサービスを事業にかかわる者全員で創造し運営をしなければ成らないのです。この為にも私共はさらに研鑽を重ねる事業協会を目指したいと存じます。

そして、全国のテニス事業関係者が大同団結すると同時に、テニス界のみならず各界の関係者の理解と協力、そして指導支援を得ながら、税制問題と公営施設の問題に取り組みたいと思います。

特に税制問題については財団法人日本テニス協会を始め多くの団体の支援を得て「スポーツ施設を守る会」を発足しており、事業協会はその事務局として、「スポーツ施設優遇税制」の制定の為の100万人署名運動を目下推進しております。

全国のスポーツ愛好者を始め皆様様の理解を得て、この運動を成就しようではありませんか。願いを実現するには、情熱と行動をもって成すほか、現状私達には手が無いのです。関係者各位の協力をお願いするものです。

全国的にテニス事業者にとって頭が痛い公営施設については、1. 料金の適正化 2. 営業行為の禁止 3. 施設運営の民営委託化を推進して参りたいと思います。

数多くの難題を抱えながらも、私どもは「物から心に」豊かさの追求が変化するこの時、テニスと言うスポーツの特性に自信を持ち、10年後の20周年に向け健康で豊かな社会造りに貢献しつつ、テニス事業を伸展させ、関係者並びに関係諸団体の皆様と力を合わせて、テニス界の発展に寄与したいと念じ、ご挨拶といたします。

経済産業省商務情報政策局サービス産業課 生涯学習振興室長 藤木 昌彦



このたび、社団法人日本テニス事業協会が、設立10周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

貴協会は、テニス事業の健全な発展を図ることを目的に平成4年に設立され、以来10年間に亘って多大な貢献を果たしてこられました。

これは、貴協会のご努力はもとより、貴協会の活動に携わってこられました関係各位のご尽力の賜と深く敬意を表する次第であります。

近年の我が国の国民生活を取り巻く環境は、情報化・国際化の進展、少子高齢化の進展、健康志向の高まり等大きく変化してきております。

このような環境の変化に伴い、国民のライフスタイルも大きく変化しており、新たなライフスタイルを満喫するためのサービスにつ

いても多種多様なニーズが生じております。

この新しいニーズに対応して新たな市場を開拓していくことが極めて重要であると考えております。

一方、サービスの消費者である国民の少子高齢化は欧米諸国に比較しても極めて高いスピードで進展しております。現在の65歳以上の高齢者の割合は約18%でイタリアに次いで2番目に高く、2010年頃にはイタリアを抜いて世界一になります。また、15歳未満の子供の割合は、米国は21%、イギリス、フランスは19%で、日本はイタリアとともに最も低い14%となっております。将来の推計人口では2015年には子供が13%に対し高齢者は26%になると推計されており、社会保障等の構造的改革が求められているところであります。

このような少子高齢化社会を支え、豊かな生活を実現するためには、健康管理の重要性が認識され、スポーツもこれに関わる一要素として捉えられております。

スポーツにも様々な種目がありますが、テニスは老若男女があまねくその体力に応じたプレーを楽しめるスポーツとして従来から多くの中老年層を取り込んでいるとともに、最近ではテニスを題材としたテレビ番組が高視聴率を得て、子供達の中にテニスへの興味が高まっているという状況にあります。現在はテニスにとって追い風が吹いている状況であると思えます。

貴協会におかれましては、従前からテニス施設の運営管理、経営基盤安定化対策、顧客のニーズに応える人材育成等様々な活動を通じ、テニス産業の着実な発展に努めて来られたところでありますが、この度迎えられた10周年を大きな節目としてテニス人口の一層の拡大に積極的に取り組んでいただき、貴協会の活動がテニス産業の発展にさらに大きく寄与していくことを心から期待しております。

最後に、貴協会並びに会員各位の今後の一層のご発展を祈念いたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

社団法人日本テニス事業協会 顧問 衆議院議員 石原 伸晃



この度は、社団法人日本テニス事業協会が、協会設立10周年を迎えられましたことに心よりお慶び申し上げます。

併せて、貴協会の活動にご尽力されている関係各位の方々に、心より敬意を表させていただきます。

貴協会は、「テニス事業の健全な発展を図り、もって国民生活の向上に寄与すること」を目的として活動されていると伺っています。

我が国では本格的な高齢化社会を迎え、健康の維持に関心を寄せる人々が少なくありません。

練習を通して健全な精神を培うことのできるスポーツは、青少年の育成にも大変役立っています。

また、テニスコートを始めとする広々としたスポーツ施設は、地域社会のコミュニケーションの「場」とすると同時に、都市部で減少しつつある緑地や災害時の非難場所等として公共的役割を担っていることは、言うまでもありません。

数あるスポーツの中でも老若男女を問わず、従来より愛好されてきたテニスは、国民生活に密着したスポーツの典型です。このようなテニスを事業としてとらえ、国民生活の向上に貢献されている皆様の努力には頭の下がる思いです。

残念なことに、スポーツ愛好者が増える一方で高額な固定資産税や相続税、少子化など、民間スポーツ事業者を取り巻く環境は厳しさを増しています。貴協会におかれても、民間スポーツ施設存続のための税制の特例措置を要望する署名運動を行っておられると伺っておりますが、その様な活動も含め、貴協会には日本スポーツ界の更なる発展のために今後ともご尽力いただきたくお願い申し上げます。

最後になりましたが、雑賀昇会長を始めとする会員の皆様のご健勝と、貴協会の益々のご発展をご祈念申し上げます、私のご挨拶とさせていただきます。

社団法人日本テニス事業協会 顧問 参議院議員 小野 清子



社団法人日本テニス事業協会が、設立10周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

10年の歳月の中には、楽しい事また苦しい辛い事も数多くあったと推察されますが、協会を立派に発展させ、テニススポーツの普及にご尽力されました雑賀会長様を始め役員、関係各位の皆様にご敬意を表します。

テニスが初めて日本に導入された頃は、一部のゆりのある人達のスポーツとして親しまれておりましたが、現在では学校でのクラブ活動も盛んに行われ、若い人からご年配の人達まで愛され、そして世界で活躍出来るプロスポーツ選手まで輩出するほどの、国民的スポーツとして広がりを見せております。また、テニスコートは地域の人々の交流の場、コミュニティーセンターとしての役割も担って参りました。

しかし、近年テニスコートの固定資産税や相続税の問題で、テニスクラブやテニススクールが閉鎖または縮少が相継いでおり、テニスをしたくても練習する場所がない、スポーツ難民と呼ばれる人達が現れています。スポーツを楽しみ、健康を維持する場所が激減し、ましてや世界に通用する選手を育てるなど、夢になりつつあります。

その中であって、日本テニス事業協会は雑賀会長様を中心に、民間スポーツ施設を守る為に他団体にも協力を呼びかけ、税制改正に取り組んでおられます。その積極的な姿勢は共感と感銘をおぼえ、私もスポーツ議員連盟の副会長としてスポーツ愛好者の活動の場を守っていく為に、皆様と一緒に頑張って参りたいと思っております。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展並びに会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます、これからも業界のオピニオンリーダーとしてのご活躍を期待し、祝辞とさせていただきます。

財団法人日本テニス協会

会長 盛田 正明



社団法人日本テニス事業協会が設立10周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

我が国に於ける最初のテニスクラブは、硬式テニス明治時代の初めに来日した欧米人によってもたらされた後、明治8年（1875年）に横浜に開設されたレディース・クリケット・アンド・テニス・コミュニティーであると聞き及んでおります。その後は神戸・東京・大阪にテニスクラブが開設されましたが、殆どが外国人の憩いの場であり、ごく一部の日本人が外国人との交流を楽しむ場であったようです。その後、当時の皇太子殿下ご成婚によるテニスブーム、高度成長期のレジャーブームなどにより、ある一部の方々のスポーツと言われていたテニスが、急激な勢いで広く一般に普及していくこととなりました。その原動力となったのは紛れもなく昭和40年代後半から始まった、民間テニス施設の開設だと確信しております。

50年代になり一層増加した個人経営テニスクラブ・テニススクールは、「テニス」を非常に身近なスポーツとして普及させ、国民生活に浸透させる大きな功績を果たしたと思っております。

その民間テニスクラブ・スクール経営者の方々が設立されました「社団法人日本テニス事業協会」は、各地で発足したテニスクラブ連盟を取りまとめ、テニスビジネスに関わる様々な事業を初年度から精力的に展開され、各地に支部を作られるなどして拡大を図るなど、役員の皆様方には本当に駆け足の10年であったのではないかと思っております。

近年、民間テニス施設の閉鎖が社会的現象にもなっているようですが、一般愛好者のスポーツ活動の場、同好の方々による交流の場、競技テニスの腕を磨く場などとして大変多くの方々がテニスクラブ・スクールをご利用されておりますので、正念場と捉えて一致協力して取り組んでいただきたいと思います。私も一人のテニス愛好者として願っております。

これからも、是非とも研修事業や啓発活動などを一層積極的に展開され、社団法人日本テニス事業協会が民間スポーツ施設団体の牽引役としてご活躍されますことを心からお祈りして、設立10周年のご挨拶とさせていただきます。

社団法人スポーツ産業団体連合会

会長 鬼塚喜八郎



社団法人日本テニス事業協会さんが、設立10周年を迎えられたことは、誠に喜ばしく、あわせてJTIA News! 10周年記念号を発行されますことを心よりお祝い申し上げます。また、設立時より今日まで、輝かしい発展の礎を築いてこられました、関係各位に対しまして深く敬意を表します。

貴協会は設立以来、テニス産業発展のため「テニス産業セミナーの開催」「TOPGUN PROJECT研修会」「管理者指導者、コーチ研修会」「テニス事業者による地域青少年育成支援への取り組みに関する調査などテニス産業に係わる各種調査研究」「テニスの日制定とイベントの開催」「車いす大会」「日本テニスチーム大会」「JTIAクラブネット」「ホームクラブ制度」など大変すばらしい成果を上げてこられました。私どもスポーツ産業団体連合会と特に関連が深いのは税制問題であります。

貴協会が中心となって私ども連合会内にスポーツ施設提供事業者の協会関係者が集まって「税制研究委員会」を平成13年度に発足させ、国民の健康増進に不可欠であるスポーツ振興の最大のネックはスポーツをする場を提供する事業者にとっての固定資産税、相続税に代表される「税制問題」であるとの結論に達しました。税負担の軽減がなければ、首都圏におけるスポーツ施設は衰退してしまうとの危機意識を共有し、税制改正および優遇処置の要望を展開することと致しました。

平成14年度はその第1歩として、基礎データを完備するため雑賀会長を委員長として「スポーツ施設経営に関する調査」を実施することとし、アンケート調査を行い現在レポートを作成中であります。今後、この調査をもとに貴協会と手を携えて要望していきたいと考えています。

ここに改めて、10年の足跡を顧みて日本テニス事業協会さんの発展をお慶びするとともに、21世紀のスポーツ業界において貴協会の担う役割は今まで以上に大きいものであると考えています。貴協会の更なるご発展とご隆盛を祈念致します。

祝 辞

社団法人日本プロテニス協会 理事長 渡辺 功



日本テニス事業協会が設立10周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。十年一昔という言葉がございますが、設立から十年という歳月は「昔」という言葉での表現が不適当なほどに、あらゆる事象が新鮮な記憶として、現在形のまま留まっておられることと存じます。設立当初の情熱を不変のものとし、今もお活発に活動をされています貴協会の姿勢に、同じテニスに関わる公益法人として多くの事柄を学ばせていただいております。テニス界を取り巻く昨今の厳しい状況におかれましても、多岐にわたる事業展開を挑み、確実な成果を出すに至る、そのご努力につきましては十二分にご理解申し上げているところでございます。そして、今日に至るまでお力を尽くされました関係各位、協会関係者の皆様に衷心より敬意を表する次第でございます。特に近年では、ホームクラブ制度を立ち上げ、選手と事業所と愛好家を繋ぐシステムを構築しテニスの普及にも力を注がれ、また高騰する固定資産税ならびに相続税に対する施策についても逸早く動き出されています。その着眼点たるやテニス界が一目を置いております。

この10年の歳月の中で貴協会が取り組みを継続されている事業の中には、テニス界をあげて取り組むべきテーマも含まれているのではないかと感じております。ここ数年の間で、テニス界においても改善の兆しがみられ、テニス主要4団体が集まり、団体の垣根を越えて協力しあう動きが定着しつつあります。是非とも今まで同様、事業主の厳しい目で見て、判断して問題視しなければならない多くのトピックスをご提言いただきたく存じております。また、貴協会におかれましては、当協会と会員の登録を共にしている方が多く、貴協会の会員が経営されている事業所でコーチ業を営んでいる当協会の会員も多数おります。現状、両団体間の交流はありますが、今後はそのメリットを活かし、普及・調査・学習会など、何か共同事業に取り組み、両協会にとってプラスとなり、そしてテニス界に貢献できる事業を企画し展開できることを強く、そして心より望んでおります。

貴協会が掲げている『For the Next Round』という言葉は、まさに団体の特徴を象徴した言葉ではないでしょうか。先見の明に長け、今後も輝きを放ち、果敢に挑戦し続ける貴協会に最大のエールを送りつつ、協力出来得る事は全面的に協力し、日本テニス事業協会の更なる発展と日本におけるテニスの普及を祈願しご挨拶にかえさせていただきます。

日本女子テニス連盟 会長 宮城 黎子



社団法人日本テニス事業協会の設立10周年おめでとうございます。テニスクラブ・テニススクールのこの10年は平坦な道ではなかったと思います。

私はラケットを手にしたのは田園テニスクラブで、クラブ育ちのテニスです。長いテニス生活で健康な毎日を通ることが出来、クラブの秩序の中から身に付いた社会常識や、多くの友人は人生の宝だと思っております。友人、健康、楽しさを与えてくれるテニスの場であるクラブやテニススクールの発展の為に事業協会の存在はますます重要なものになって行くでしょう。

現在、都会地では地価の値上がり、税金等で経営側は苦しく、クラブの閉鎖や月会費の値上げで会員は大変ですし、一方地方都市では土・日以外使われていないコートが多いと聞きます。私達の大好きな素晴らしいスポーツのテニス日本中にしっかり根づくように貴協会のご指導とご活躍を期待申し上げます。そして更なるご発展をお祈りいたします。

日本車いすテニス協会 理事長 芝田 耕太郎



貴協会設立10周年をお迎えになられたとのこと、誠におめでとうございます。また、全国各地で車いすテニスを温かくご支援くださり、心より御礼申し上げます。

さて、かつてない社会的変革期を迎えた情勢下で、このように貴協会が発展を遂げられましたのも皆々様のたゆまないご努力とご研究の熱心さと拝察申し上げます。

近年、当協会の会員が各地のテニスクラブで、一般の会員に混じって車いすでレッスンを受けるといった事例が報告されるようになりました。言うまでもなくテニスは、老若男女、また障害の有無にかかわらず楽しめるという典型的な生涯スポーツですが、地域社会の中でプロフェッショナルなサービスを提供するテニスクラブは車いすプレーヤーにとってスキルの向上、健康増進、さらには健常者との交流を実現する格好の場でもあります。

貴協会におかれましては、10周年を機に、今後なおいっそうのご躍進を遂げられ、日本のテニス界の支柱としてますます発展されることを祈念申し上げます。

日本ラケット工業協同組合 理事長 米山 稔

「税制改正100万人署名運動」を成功させましょう。

日本テニス事業協会設立10周年、誠におめでとうございます。雑賀会長とは4年前、「テニスの日」開設当時からの付き合いですが、スポーツ施設の拡充をはじめ、広範なテニスの普及・発展に大変な情熱を注がれるなど、深く感銘を受けました。

日本ラケット工業協同組合といたしましても、草の根大会の応援をはじめ、地域に根ざした活動を積極的に推進するなど、これまでラケットスポーツの普及に取り組んで参りましたが、経済環境が厳しい中、スポーツ施設の減少は根幹に根ざすだけに憂慮致しておりました。

そうした折、雑賀会長より「スポーツ施設の税制改正に全力で取り組みたい。是非力を貸してほしい。」との相談を受けました。現在、業界を挙げての「民間のスポーツ施設に係る税制改正

100万人署名運動」は、貴協会を中心に11団体が一致団結し活動を行い、大きな地殻変動を起す勢いがあります。昨今、テニス界はアニメの影響もあり、第3次ブームの到来といわれていますが、貴協会の会員、即ちテニス事業者の方々が、キッズテニスの普及活動などを継続的に行ってきた基盤があったからこそであり、深く敬意を表する次第です。このブームを本物にし、さらにテニス人口拡大していくためには業界全体で取り組むことが必要と考えております。今後ともより一層、密接なる協力関係のもと邁進いたしたく存じます。

末筆になりますが、貴協会並びに会員の皆様の更なるご活躍、ご発展を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

プロテニスプレーヤー 松岡修造氏に聞く



雑賀 本日はお忙しいところをお時間をいただきありがとうございます。私は、この世界で夢なりビジョンを持っている方、自分がやっているテニスに情熱を持っている人、それを実現しようという行動力を持っている人、こういう方々がリーダーにならなければいけないと思っていますが、そういう観点から、松岡さんを拝見しているとまさにうってつけの方だと日頃思っていました。ぜひ松岡さんの夢などを語って頂けたらと思います。

松岡 こちらこそよろしく願いいたします。

共通の目的に向かって、全ての協会が関わっているという形がスマート

雑賀 松岡さんご自身が、世界をご覧になってきた経験から“日本のテニス界を見てこんなことをやったら良い”というようなことはありますか。

松岡 僕は現役を卒業するまでテニス事業協会のことに関しても、テニス協会のことに関しても、あるいはテニスクラブ・スクールがどういう状況になっているかということもよく知らなかったわけです。今でも100%把握しているわけではありませんが、選手の頃はいろいろと協会に意見を言っていただけで、その意見がなかなか通らず疑問をもっていたのですが、いざ協会の仕事に携わってみると、意見を言っているだけではダメなんだということが自分の中で少しずつわかってきました。そこで、「今の自分にしかできないこと」をこの5年間、模索しながらやってきたのがジュニアの強化に取り組むということでした。

世界的には国技であるイギリスやアメリカと比べてしまえばもちろん負けてしまうかもしれませんが、日本のテニス界が、強化について何もやっていないかと言うと結構やっていると思うんです。遠征にも行ける、強化キャンプもある、国際大会もある、指導者のレベルアップを図ることもやっている、条件は揃っていると思うんで

聞き手 (社)日本テニス事業協会 会長 雑賀 昇

す。この条件が揃っている中で毎年良くなっているし、子供たちの意識も指導者の意識も変わってきています。

でも、それがなかなか周りの人に伝わりにくい状況になっている。なぜかという、強化というものは何年もかけて育てていくものだから結果が出にくいことだと思います。

結果が出ないから資金集めが難しい状況になっている、「だからこそ、そこを何とかしなくては」ということを、自分が今やるべきことなのではないかと考えています。

協会の中では、僕を含めいろいろな強化活動を行っているわけですが、今一番問題なのは「僕はこういうことをやっています」「協会ではこういうことをやっています」と強化に対しての活動が一本化されていないことだと感じています。このバラバラの活動を1つのテーブルに集めて、皆で話し合いをするということが大切なのです。

雑賀 バラバラの活動を一緒にできると良いですね。

松岡 一緒になってもらうように働きかけていきたいと思っています。そこで選手のみならず指導者の育成を含め日本のテニス界全体のレベルアップを図るための助っ人として、ボブ・ブレットにも協力をしていただくことになりました。

テニス協会にしても事業協会にしてもプロ協会にしても、あるいは女子連にしても、みんな別々の強化に取り組んでいると思うんですが、できればこれらを一つにまとめ、一枚の紙に書けないかなと思うんです。

雑賀 私もそう思います。

松岡 普及というのはまた別ですから、普及というものに関しても情報をすべて出してみる。

今「テニスの日」をきっかけに皆さんが一つになろうという気持ちになってきているわけですから、それを上手く活用して行けば良いと思います。「テニス協会はこうやってますよ、日本のテニス界はこうしていますよ」というように、共通の目的に向かって、全ての協会が関わっているという形が僕はとてもスマートだと思います。



「テニスの日」に一番大切なことは、その存在を知ってもらうこと

雑賀 テニスの普及を目的として「テニスの日」の企画も軌道に乗ってきていると思います。

昨年は15の都道府県で複数の団体が協力して共同イベントを開催して下さいました。従来は7カ所くらいだったのですが、「テニスの日」のキャラクター（テニスの王子様）が評判よかったので、これも追い風になりました。個別イベントは全国400カ所位の登録でした。実際には登録しないでやっているところがあるので500カ所位かと思います。本来の普及という観点から見れば、個別イベントは1000カ所位にしたいと思っています。

「テニスの日」の企画のもう一つの効果として、テニス関連団体の連携が強まったことがあげられます。

また、課題としては、どうしたらメディアに取り扱ってもらえるかという問題です。

松岡 「テニスの日」というのは、“全国で行われていて、テニスをやっている全ての人に関わっているもの”です。

「テニスの日」で一番大切なのは、“その存在を知ってもらうこと”だと思います。

そのためには、メディアに取り上げてもらい、たくさんの人に「テニスの日」を知ってもらうことが大切です。しかし、驚くことに「テニスの日」について書いてもらわなければいけないテニス誌があまり取り上げていないのです。

それは、イベントとして取り上げるための魅力が少なかったからで、今後はその魅力を作り上げていく努力をする必要があると思います。

せっかく「テニスの日」にこれだけの団体が協力するわけですから、各メディアを通して自分たちの活動をうまくアピールする絶好の場として考えて企画をしていけば良いのではないかと思います。

雑賀 なるほど、こちらがどう持っていくかプログラムを作らなければいけないですね、今後の取り組みを考えてみます。

「テニスの王子様」ブームその後は・・・

雑賀 今「テニスの王子様」が流行しています。こういったブームを単発に終わらせないで今後に繋げて行く必要があると思うんです。

松岡 確かにそうですね。

雑賀 それこそ松岡さんや伊達さんが出た時とはちょっと違うと思うんですよね。これを今後にどう繋げていくかというのが一番難しい問題です。事業協会加盟のクラブやスクールでもジュニアのスクール生が増えているんです。ところがこれで終わっちゃったら意味がないんですね。

松岡 「テニスの王子様」は、今の日本の子供たちに足りない自立心や独立心、いわゆる自分を表現することを、本の中で表しているから、今の時代にマッチしているんだと思います。

このブームを今後に繋げていくためには、「テニスクラブやスクール自体が、いかにその子供の年齢に適したプログラムを提供できるか」と言うことが一番問題だと思います。プログラムが良くて、ニーズにうまく合えば継続していくことは間違いないと思います。



テニスクラブが減少していくのは残念

雑賀 テニスクラブに対してなにかご意見をいただけますか。

松岡 テニスクラブに関しては、事業協会の方で出された制度がありますね。

雑賀 選手とテニス愛好者のファン作りをしようと言う目的で始めたホームクラブ制度ですね。

松岡 同じじゃないですけど海外ではやっているんですよ。この制度は良い制度だと思うのでどんどん盛り上げていけると良いですね。

雑賀 近年、高騰する固定資産税や高額な相続税が原因等で閉鎖をするテニスクラブが多くなっています。

松岡 テニスクラブの良いところは、ただ単にテニスをする場所ということだけではなく、社交的な場であったりという非常に魅力がある場所であると思います。テニスクラブがどんどん減少していることはとても残念なことです。テニスクラブを存続させていくためには、税制問題を含めてどうしたら良いかと言うことをみんなで考えていくことが大切だと思います。



テニス事業協会に対して

雑賀 事業協会に対してご意見はありますか？

松岡 事業協会って名前を聞いたときには、ビジネスって結びつけますよね。テニスを仕事としている指導者の方々とか経営者の方々とかが、事業協会に所属していることがステータスであるとか、メリットを感じるようにシステムをしっかりさせていく必要があるのではないのでしょうか。

雑賀 将来的に私が今思っているのは、選手のトップを事業協会に選手登録していただいて、各クラブにご紹介する方法。クラブやスクールがイベントをやる際に有名選手に来て欲しいですよ。ところが頼むのに四苦八苦しているんですよ。この間もある選手と話したんですが、私たちが行きたいんだけど、行くところを探してくれと。登録して斡旋すればいいじゃないかという話になりました。あるいは、プロのコーチ志望者を斡旋する方法、そういうシステムも作っていければと考えております。

勝利学の本を出します・・・

松岡 テニス協会の盛田会長からいただいた話なのですが、今度「テニスの王子様勝利学」という本を出版します。

そして、その本の売上げを全てジュニアの遠征費にあててもらいたいと思っています。

雑賀 それは読む対象はどんな人ですか。

松岡 テニスをしている人はもちろんですが、テニスをしていない人たちにも分かるようにと作っています。

「テニスの王子様」の漫画の中から、印象に残ったシーンをピックアップして自分の体験を織り交ぜながら書きました。

雑賀 松岡さんと許斐さん（テニスの王子様：原作者）がドッキングしたんですね。

松岡 そうですね、「テニスの王子様から、こういうことを学べますよ」ということです。

雑賀 「テニスの王子様」がもっとヒットするなあ。

松岡 といいんですけど、「テニスの王子様」を読んでなくても分かる内容になっています。

雑賀 今後も、松岡さんのますますのご活躍を期待しております。本日はお忙しい中、どうもありがとうございました。

松岡 こちらこそありがとうございました。これからも日本テニス事業協会の理事として、協力ができることはしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

松岡 修造 (まつおか しゅうぞう)

生年月日：1967年11月6日

出身地：東京都

身長：188cm

体重：85kg

プレイ：右利き（両手バックハンド）

著書：「セカンド・ドリーム」（1998年4月）

：NHK 趣味悠々「松岡修造のLet's Enjoy Tennis」
テキスト（1999年4月）

：Jスポーツシリーズ・テニス編（2001年4月）

：「本気」の言葉（2002年4月）

■ ATPツアー・シングルランキング

最高位：46位（1992年）

■ 1992年：KALカップ優勝

■ 1992年：ステラアルトワ グラスコート選手権準優勝

■ 1995年：ウィンブルドンベスト8

社団法人日本テニス事業協会10年の歩み



1992.12.25

社団法人日本テニス事業協会 誕生

日本テニスクラブ連盟を発展させ、テニス事業者のさらなる繁栄を期して公益法人として船出をしました。

平成6年度調査事業

「消費者ニーズに対応した機会提供・質の高いサービス提供の在り方についての調査」

平成7年度調査事業

「顧客の創出・育成とより良い環境提供のための“テニスフェスティバル”事業」

平成8年度調査事業

「テニス産業に関わる高度情報化に関する調査研究」

平成9年度調査事業

「テニス産業における高度情報化に対応する能力開発、人材育成事業」



日本テニスチーム大会

協会の会員クラブメンバーやスクール生の技量の向上と親睦をはかるための大会として、各地区事業協会の代表が一堂に会します。この大会は日本テニスクラブ連盟時より、現在まで毎年開催されています。

1995～

国際車いすテニス大会「仙台オープン」

事業協会は車いすテニスITF公認大会を毎年開催しています。



JTIA News!

'99 Special

JTIA News! 特別座談会
『会員制テニスクラブの黎明期から今日まで』

広報委員では、情報誌『JTIA News!』を編集発行するにあたり、かつてからの読者様ありがとうございました。第1回目は『会員制テニスクラブの黎明期から今日まで』というテーマで下記のように座談会を行いました。

第2回目は、テーマをテニススクールに焦点を合わせ、第3回目はテニス業界の今後に焦点を合わせて開催する予定です。ご期待下さい。



- 日時 平成11年1月13日(水) 午後2時より
- 場所 グリーンテニスクラブ新館・新館
東京都府中市三輪町山-2114 電話 044-919-3111
- 出席者 飯田 邦夫氏 (東京都・グリーンテニスクラブ代表)
内藤 昇氏 (東京都・武蔵野ローンテニスクラブ代表)
伊藤 博氏 (千葉県・江戸川台テニスクラブ代表)
梶原 昇氏 (社団法人日本テニス事業協会代表)
- 進行 大野康英氏 (プレントウッドラケットクラブ代表)
- 司会 飯田 邦夫氏 (社団法人日本テニス事業協会代表)

特別座談会

「会員制テニスクラブの黎明期から今日まで」

特別企画として、協会の先達の方々の貴重なお話をお聞きしました。

「テニススクールの歴史と今日」

特別企画の第2弾としてスクールの歴史やこれからの在り方をお話いただきました。

JTIA 10th Anniversary

1998~

「テニスの日」・「テニスの日推進協議会」発足

日本のテニス関係者が一致協力して、テニスの普及を目的に9月23日を「テニスの日」と定めて、全国各地で毎年イベントを開催しています。



公営コートに対する取組

民間テニス事業者の存続を脅かす「公営コート問題」についても真剣な取り組みを続けています。

ロゴマークの制定

JTIAロゴマークをお使い下さい。



社団法人日本テニス事業協会



平成10年度連合会研修事業

「ジュニア育成指導者研修会」

最新の知識や情報の把握、指導育成システムの研究と実践、そして受け入れ施設の整備に主眼を置き、講義・実技研修・事例紹介や情報交換を交えてヤマハリゾート「つま恋」にて1泊2日で行われました。

JTIA CLUB NET

当協会の全国ネットを利用して、一般のテニスプレーヤーの方々の転勤があっても新天地で気軽にプレーできるようこの制度を発足させました。



JTIA CLUB NET

Members Card

日本テニス事業協会-1

社団法人日本テニス事業協会

2001年版 これからの テニスクラブ経営

事業活性化から継承まで

- テニス事業を取り巻く環境
- テニスクラブ経営者の多岐化が生じたらどうなるか
- テニス事業の成功例

【インタビュー】
日本テニス協会会長・堀田正樹氏
前都立高校長・小野澤孝氏



「これからのテニスクラブ経営」発行

(株)船井財産コンサルタンツの協力により「事業活性化から継承まで」との副題で小冊子を発行いたしました。

平成11年度調査事業

「新たなテニス愛好家創出を目的とした革新的会員制度ならびに利用システム、および料金体系策定のための調査研究」

平成12年度調査事業

「テニス事業者による地域青少年育成支援への取り組みに関する調査研究事業」

2000~

キッズ&ジュニアテニスカーニバル

テニス人口裾野拡大のために、テニスをしたことが無い経験の少ない子供とその親を対象に、ショートテニスによる体験会を毎年開催しています。





テニス産業セミナー

テニス事業・産業としてのテニスの発展・協会の活性化の推進を目的に、日本テニスクラブ連盟時より、毎年産業セミナーを開催しています。

ホームページを刷新しました

情報化時代に対応して会員の事業者の皆様は勿論のこと、広くテニス愛好家の方々にも気軽にご利用いただけるよう、ホームページを一新しました。

<http://jtia-tennis.com>



「TOPGUN PROJECT 2001」

「21世紀の経営戦略策定」をテーマとして、会員制クラブ・スクールのそれぞれの成功者の事例紹介等、分科会方式を取り入れて、品川プリンスホテルにて、1泊2日で行われました。

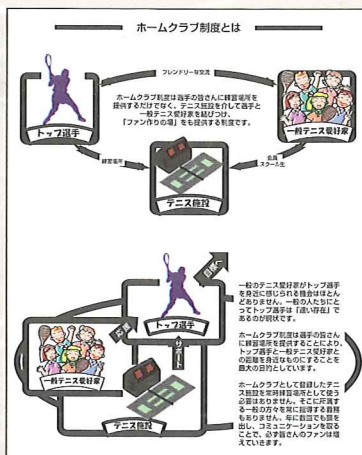


「TOPGUN PROJECT 2002」

「ブームを本物に!」をテーマとして、「サービス業」としての観点に重点を置き、成功事例や異業種の事例も含めた研修として、品川プリンスホテルにて1泊2日で行われました。

ホームクラブ制度の発足

一般テニス愛好家とプロプレイヤーの交流を深め、プロプレイヤーの育成にも役立つ制度を発足させました。



**私達のスポーツ施設を守る
100万人署名運動に
ご協力ください**

日本全国民間スポーツ施設の税制改正を!

民間スポーツ施設に課税の動きにたいして

署名集積記入例

この署名集積記入例は、署名集積用紙に記入する際の参考として掲載されています。署名集積用紙の記入方法は、署名集積用紙の裏面に記載されています。

署名集積用紙の記入方法は、署名集積用紙の裏面に記載されています。

署名集積用紙の記入方法は、署名集積用紙の裏面に記載されています。

民間スポーツ施設税制についての取組

「スポーツ施設を守る会」発足と「100万人署名運動」始まる。税制問題に端を発して民間スポーツ施設の閉鎖や縮小が取りざたされる中、スポーツ関係団体が結束して立ち向かおうとの活動が開始されました。

prince

その先の、究極を求めて。

MORE PERFORMANCE

勝つためのツアーモデル、MORE Controlついに完成。

ツアープロの高い要求に応え、細微までこだわり完成されたツアーモデル「モア コントロール DB 850・800」。モア テクノロジーが生み出す、卓越したコントロール性能と鋭いスピン性能を創りだす。それは勝つための能力を搭載した、ツアー・競技指向プレイヤーのためのラケット新登場。



NEW

2003年1月発売予定

杉山愛選手使用モデル

モア コントロール DB 850・800

MORE CONTROL DB

850(O/S)・800(M/P)

OVERSIZE/MIDPLUS

オーバーサイズ/ミッドプラス

◎価格(フレーム) **¥34,000**

O/S 107
inch²

M/P 97
inch²

ヘッドサイズ: O/S 107平方インチ, M/P 97平方インチ
フレーム全長: O/S 27.25インチ, M/P 27.0インチ
フレーム厚: O/S 23.0mm, M/P 22.0mm
平均ウエイト: O/S 290g, M/P 295g (フレーム)
バランスポイント: O/S 32.0cm, M/P 33.0cm
フレームカラー: ホワイト



NEW

2003年3月発売予定

グローバルモデル

モア コントロール DB 850・800

MORE CONTROL DB

850(O/S)・800(M/P)

OVERSIZE/MIDPLUS

オーバーサイズ/ミッドプラス

◎価格(フレーム) **¥34,000**

O/S 107
inch²

M/P 97
inch²

ヘッドサイズ: O/S 107平方インチ, M/P 97平方インチ
フレーム全長: O/S 27.25インチ, M/P 27.0インチ
フレーム厚: O/S 23.0mm, M/P 22.0mm
平均ウエイト: O/S 295g, M/P 310g (フレーム)
バランスポイント: O/S, M/P 31.5cm
フレームカラー: ホワイト(表面)×ブラック(裏面)



裏面カラー
(ブラック)

MORE PERFORMANCE モア パフォーマンス Sシリーズ新登場!

マイルドな打球感と驚異的なパワー。そしてコントロール性能に優れた、MORE パフォーマンス Sシリーズ同時新発売。



NEW

2003年1月
発売予定

モア パワー 1500 S
MORE POWER
1500 S

◎価格(フレーム)
¥38,000

ヘッドサイズ: 120平方インチ
フレーム全長: 27.75インチ
フレームカラー: ブラック



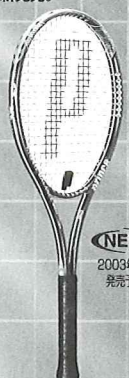
NEW

2003年1月
発売予定

モア パワー 1150 S
MORE POWER
1150 S

◎価格(フレーム)
¥36,000

ヘッドサイズ: 116平方インチ
フレーム全長: 27.5インチ
フレームカラー: ブルーグリーン



NEW

2003年3月
発売予定

モア バランス 950 S
MORE BALANCE
950 S

◎価格(フレーム)
¥34,000

ヘッドサイズ: 100平方インチ
フレーム全長: 27.25インチ
フレームカラー: レッド

※◎価格は、メーカー希望小売価格の略です。※表示価格には、消費税は含まれておりません。※プリンスラケットは専用カバー付です。

http://www.prince.ac 〒203-8511 東京都東久留米市前沢3丁目14番16号 ☎ 0424(79)7771 ダイワ精工株式会社 スポーツ営業本部 スポーツ営業部

このページでは、本協会が取り組んでいる色々な活動の中から、2つを選んでご紹介します。

(1) 税制への取り組みと今後の活動方針について

1. テニス事業に関わる税金に関する調査及び研究
2. 税制改正要望書等の提出
3. テニス事業を取り巻く税制勉強会の開催
4. 今後の活動方針

1. テニス事業に関わる税金に関する調査及び研究

土地の平面利用という事業の特質から、われわれの事業者は省力化、経費節減等により渾身の経営努力をしておりますが、個々のテニスクラブは固定資産税・都市計画税の負担増から健全経営の確保に苦慮しております。この実体を把握することが先ず税制に対する取り組みと考えました。

また、設立時より本協会の構成会員の6割強が、個人所有の土地で事業を行っている実態を踏まえると、現行の相続税制度では世代交替の際の税負担が大きく、その継承はきわめて困難となっています。

2. 税制改正要望書等の提出

関係省庁である経済産業省（前通商産業省）及び自由民主党政務調査会に対し、国民の余暇生活、健康スポーツの場としてのテニス施設（民営スポーツ施設）に関する税制改正や優遇について、以下の要望書を提出してまいりました。

「テニスクラブ用地に係わる固定資産税及び都市計画税の特例措置要望書」
「//相続税、贈与税の特例処置要望書」

3. テニス事業を取り巻く税制勉強会の開催

事業者自らも自己啓発や研鑽に努め、現在の税制に対する理解と対策を講じていく必要があります。テニス事業に関する税制や大きな問題である事業継承などに焦点をおいて、講演や事例紹介を中心とした税制勉強会を開催してまいりました。

4. 今後の活動方針

バブル経済がはじけて13年。地価が下落傾向にあるにもかかわらず、固定資産税自体は、上昇を続けています。

依然として経済全体が冷え込んでいる状態では、経営を圧迫することには間違いありません。

また、クラブ経営者の相続が発生し高額な相続税がかかり、納税のために施設売却に追い込まれています。そして大企業が所有するゆとりのある落ち着いたテニスクラブが大都市を中心に次々と閉鎖されています。

このような状況に危機感を抱いた、テニスに限らずあらゆるスポーツ施設団体に国会議員ら関係者が「スポーツ施設を守る会」を設立し、「100万人署名運動」が今まに行われています。

テニス事業者とテニス愛好者がまず一つになり、多くのスポーツ団体と手を取り、施設の存続の為に力強い活動を続けて行かなければなりません。

まだスタートラインに立ったばかりです。本協会が行って来た要望活動を土台として、今後共テニス関係者のご協力を切にお願いいたします。

(2) 公営コート問題について

- ・公営コートを利用した営業行為禁止を・・・
- ・公営コートの利用料は適正な水準に・・・

公営コートは適正な料金で適正な使い方を・・・

本協会が力を入れて取り組んでいる問題に、いわゆる公営コート問題があります。

地方公共団体により住民の福祉向上の一環として、テニスコートをはじめ色々なスポーツ施設や福祉施設が全国的に数多く建設されています。

これらの施設が、本来の目的に沿って適正な料金で住民の方々に利用されているのであれば、これは問題視すべきことではありません。

しかしながら、現状では、所定の公租公課を負担し、顧客へのサービスを提供している民間では考えられないような、とても適正とは思われない低廉な料金が設定され、かつ、いわゆる「白タク」行為のように、公営コートを利用して、有料のテニススクール営業を行い、我々民間事業者の営業を圧迫している事態が顕著にみられます。

この点については、平成12年5月26日の閣議でも、【民間と競合する公的施設の改革について、不特定の者が利用し得る施設の新設及び増築は禁止し、既存の施設については、官民のイコール・フットイング（税制を含めた同一競争条件の確保）の観点から、施設ごとの独立採算性を原則とし、一定の基準に基づいて個々の施設ごとに企業会計原則に準ずる特殊法人等会計処理基準により経営成績等を明確にし、早期（5年以内）に廃止、民営化その他の合理化を行う。さらに地方公共団体についても、上記の措置に準じて措置するよう要請するものとする。】との趣旨の決定がなされておりますが、全国的にみられる状況を見ると、この趣旨は生かされていないと言わざるを得ません。

本協会の取り組みは・・・

本協会では、社団法人という公的立場を明確にし、各地区事業協会と一体となって、根気よく活動を展開してきています。

その活動は、「まず現場から」を実践して実態の把握を行い、その情報を元に、公営コートを直接管理している都道府県・市町村の行政の責任者や議会筋に働きかけを行う方法で展開しております。

今までの成果は・・・

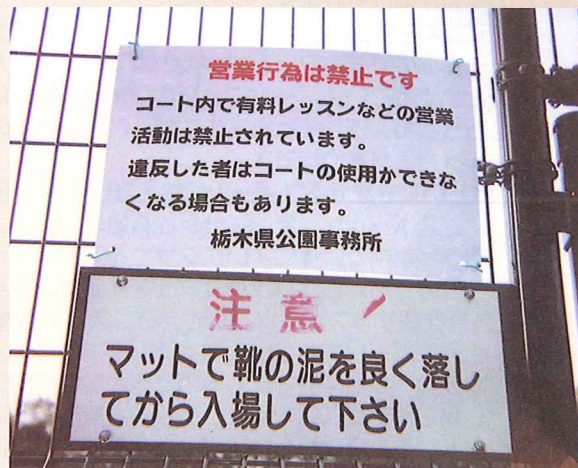
幸い、本協会の各地域・地区の方々のご熱心な活動の結果、議会筋や行政責任者のご理解を得て、既に多くの県や市町村で、「営業行為禁止」の看板が掲示されたり、「白タク」スクールが中止になったりする等の成果を上げつつあります。

しかしながら全国あまたある公営コートに対象を広げ、また、実際に、営業行為の中止の実績を積み上げていくには、根気よく継続的な活動を続けていかなければならないのが現状です。

これからの活動は・・・

本協会では、社団法人として、我々の正当性について、主張を各行政責任者のご理解を得て、各地域に「料金適正化・営業行為禁止」の具体的な行為に結びつく活動を展開したいと考えています。

本協会の、地域・地区組織の細かい活動、全国各地の情報交換、本協会本部の積極的な支援が、この運動を進める鍵になると考えています。



アメリカテニスクラブ事情

尾崎 健

テニスを大学から始め、コーチングの勉強のために単身アメリカへ。カリフォルニアにトレーニングセンターがないことに着目し、パシフィックコーストトレーニングセンター設立を計画。その一環としてアメリカ西海岸で唯一、そして最大のインターナショナルボーディングアカデミーを設立。西海岸に日本人を含めたアジア人プレイヤーの拠点を作っている。

アメリカにおけるテニスの位置づけは・・・

アメリカ人をいくつかのことで形容すると、陽気で気さく、そしてスポーツ好き・・・という言葉が出てくるほど、アメリカにはスポーツ文化というものがあることが実際に存在しています。スポーツはアメリカ人の生活に密着し、それは生活必需品である車と同様、スポーツは人生になくなくてはならないものになっています。

その中で、テニスというスポーツはどのような位置づけとなっているのでしょうか。テニスというスポーツがアメリカでポピュラーになり始めたのは約25年前の出来事でした。スポーツというものの自体が、アメリカでポピュラーになり始めたころです。そのスポーツブームによってテニスは一大ムーブメントを起こすまでになりました。それまでのスポーツといえばフットボールとバスケットでした。しかし、フットボールは体の大きな人や若い人でないと出来なく、またぶつかり合う為、非常に危険でした。バスケットボールにしても身長が大きくものをいうスポーツで一般の方、特に女性にはとてもとっつきにくいスポーツだったのです。

それに比べてテニスは身長に左右されることなく、またぶつかり合うスポーツでもないため、広く一般の方に受け入れられ、特に女性の方の支持を得たのです。そのため、テニスはアメリカで3大スポーツとしての地位までも手に入れたのです。しかし、テニスブームがピークを迎えたのは1980年代まででした。スポーツをすることがブームから生活の1つに変わり始める頃には、アメリカでのスポーツは多種多様に变化していったのです。テニスはお金がある程度かかるスポーツであるため、そうでない人々はもっと手軽にそして健康を考えたスポーツへと移行し始めました。逆にお金をかけることの出来る人はゴルフへと方向転換し始めたのです。

また、今までは1つのスポーツしか楽しんでいなかった人がいくつものスポーツをするようにもなり、テニスは現在、ポピュラーなスポーツである反面、2番目3番目のスポーツとして人々に愛されるようになっていきました。

現在アメリカで愛されているスポーツは・・・

アメリカンフットボール・バスケットボール・ベースボール・サッカー・水泳・スケボー・ゴルフ・アイスホッケー・バイク・ジョギング・ウォータースポーツ・エクストリームスポーツ(危険なスポーツ)など多岐に渡り、テニスは、その中の1つとして愛されているスポーツなのです。

決して無くなることのないスポーツである反面、現在は残念ながらトップ3には入っていません。

なぜテニスはメジャースポーツから外れたのか・・・

アメリカでのスポーツの基本的な楽しみ方は2つです。

1つは自分がプレイすること、もう1つは観戦です。どうしてテニスのプレイ人口が減ってしまったのでしょうか。いくつかの要因が挙げられます。

- 1) テニスをプレイしたことのある方ならお分かりでしょうが、テニスは見た目以上に激しいエクササイズを必要とするスポーツなのです。フットボールのようにフィジカルコンタクト(ぶつかり合う)などはありませんが、常にダッシュを必要とする激しいスポーツに分類されます。そのため、年齢とともにテニスが出来なくなってしまう方が出てきたのです。もちろん、プレイは出来ますが、若かった頃のような動きが出来なくなり、それがジレンマだったりつまらなくなってしまう人が多い様です。
- 2) 激しい動きをするスポーツに絶えないのが、怪我がどうしても多くなってしまうことです。スポーツ文化が発達すると共に、スポーツが科学的に分析され始めました。そうした中で、体によいエクササイズは・・・という結論からテニスは少し外れてしまったのです。一般の方が休日、リフレッシュをするため軽く体を動かすスポーツとしては少し危険な種目と判定されたようです。
- 3) 技術を要するスポーツとして、テニスはある程度の練習と技術の習得が必要なスポーツなのです。そのため、手軽に楽しめるスポーツでもないのです。

サッカーなどは動きまわるので運動量の多いスポーツではありますが、いきなり参加しても十分楽しめるスポーツです。しかし、テニスは初めてラケットを握った方にとっては、これほど思い通りにならないスポーツは他にはないのではないかとはいくらか難しいスポーツなのです。他にはゴルフも同じことが言えます。

これらの理由により、現在どのスポーツをするのかという選択肢が多いなかテニスを第一に選ぶ方は少なくなってしまっています。学生時代にやっていた方がまた始めるといことはあっても、年齢が30歳を越え、日常が忙しく体が鈍ってきたために、健康のため何かスポーツを始めようとする方には特にこれからのスポーツという感じにはならないようです。逆にテニスを選ぶのはその難しさゆえ、ある程度はまとやみつきになるということなのです。

それでは観戦するスポーツとしてはどうなのでしょう・・・

フットボールのようにフィジカルコンタクトのあるスポーツはテニス以上に危険です。しかし、アメリカにはフットボールシーズンになると「フットボールウィドー」（フットボールに夫を取られた未亡人）という言葉があるくらい、ものすごい人気を誇っています。

見るスポーツとして人気が高いものにはいくつかの理由があります。

- 1) スポーツのフィールドの大きい事。
フィールドが大きいスポーツはそれだけ収容人数が多く、盛り上がるのです。フットボールだと8万人、ベースボール、サッカーだと5～6万人の人が集められます。それに比べると、テニスコートは少し小さすぎる様です。
- 2) フィジカルコンタクトがある
フットボールはもちろんですが、アイスホッケーリンクはテニスコートを少し大きくした程度ですがとても激しいフィジカルコンタクトがあります。また、乱闘なども起ります。そういった激しい中にあるハプニングなどが見るスポーツとしては大切な要素なのです。ボクシングは明らかにテニスコートより小さいですが、殴り合って相手を倒すというもっともフィジカルコンタクトの基本的なスポーツなのです。
- 3) 得点が沢山入る
バスケットなどは収容人数は1万人程度でテニススタジアムとそれほど変わりませんが、常に得点が入り、点が入るたびに観客は盛り上がる事が出来るのです。紳士のスポーツとして始まったテニスでは1ポイント入るたびに盛り上がるのは少し不自然です。
- 4) グループスポーツである。
個人スポーツより、団体競技の方が見ていて楽しい人が多い様です。アメリカなどは日本に比べると個人主義とはよく聞きますが、それでも人間の基本的な本能でグループでの連携プレイは一人で最初から最後まですることより、面白さが違います。

ラケットボールというスポーツを皆さんご存知でしょうか。20年前アメリカでとても流行したスポーツの1つなのです。しかし、今はほとんど姿を消してしまいました。一時はプロトーナメントもあったのです。理由は試合をするコートが小さすぎるため（テニスコート半分以下）観客を集められなかったことと、ボールスピードが速すぎて遠くからは何をしているのかわからないのです。ですから、テニスコートサイズは見るスポーツとしては、もっとも小さなサイズに分類されることとなります。このように見るという視点からもテニスは決して悪くはありませんが、少し中心から外れてしまっているのです。

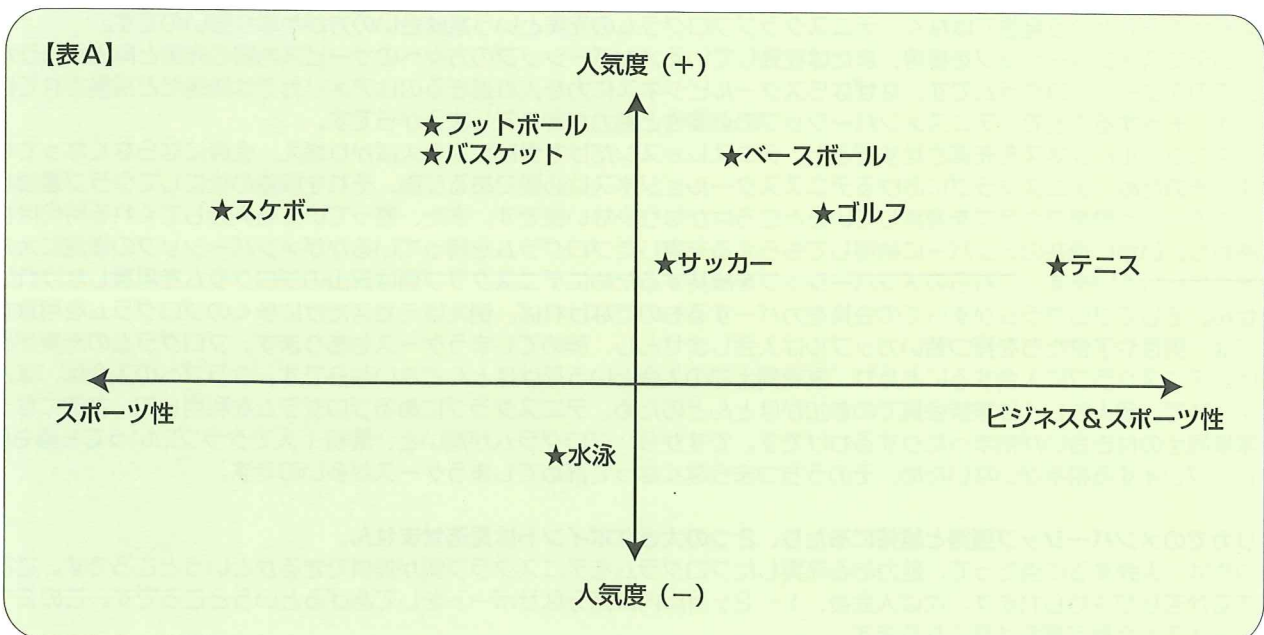
ビジネスとしてのテニス・・・

スポーツの人気としてみたテニスのお話を最初にしましたが、ビジネスとしてみた時、テニスはどのようなものなのでしょう。なぜならアメリカには本当にたくさんのテニスクラブとゴルフクラブが存在しているからです。1つの街に必ず1つのテニスとゴルフのクラブがあるほどです。それだけ、需要があるということです。

その中に必ずあるのがテニスレッスンプログラムです。大人から子供、グループや個人のテニスレッスンが各テニスクラブで行われています。そこには必ずテニスインストラクターと呼ばれるスタッフが専門にいてクラブの運営スタッフとは関係なく、むしろテニスを純粋に教えるためのスタッフとして各テニスクラブには数名のスタッフが配置されています。

このように、レッスンプログラムが充実し、それを教える専門のインストラクターが沢山在籍しているスポーツはテニス以外にはとても少ないのです。

【表A】でアメリカのスポーツのポジションを見てください。



ここにテニスはスポーツとしてのポジションより、ビジネスとして立派に独立しているわけです。ただし形態が違うのでここで日本とアメリカのテニススクールプログラムの違いを表にまとめてみました。

【表B】で日米のテニススクールの違いを見てみましょう。

【表B】	日 本	アメリカ
定 員	8～12名	1～4名
規 模	300～2000名	50～300名
対象者	Jr5～6才から一般男女	Jr4才から一般男女
クラス分け	スクールでレベル/クラス決め	コーチと生徒が相談
スケジュール	毎2～3ヶ月で1クール	特に無い
支払方法	月謝又はタームごとに前払い	レッスン後か個人口座へ請求
レッスン時間	1クラス・1時間30分	1クラス・1時間
レッスン形式	グループが90%	成人はほとんどプライベート
	プライベートは僅か	Jrはグループ多し
レッスン内容	スクール側が決める	コーチと話し合っで決める

テニススクールビジネスに匹敵するその他のスクールビジネスがアメリカには存在しているのでしょうか。その他のスポーツを参考までに見てみましょう。

スポーツ名	スクールビジネス	どこで教えられているか
フットボール	無い	学校体育
バスケットボール	無い	学校体育・各自
ベースボール	有る	学校体育・スクール
スイミング	有る	スクール
ゴルフ	有る	スクール
サッカー	有る	学校体育・クラブ

この表を見て頂くと一目瞭然ですが、テニス以外のスポーツでもビジネスとしてレッスンが行われているスポーツはありますが、わざわざレッスンを受けて習おうとするスポーツはテニスとゴルフが中心ですし、そのゴルフにしてもテニスほどレッスンプログラムが組織だっていません。それは最初に触れた、「技術を必要とするスポーツ」であるため、スポーツとしてとっつきにくい反面ビジネスとしては成功しているのです。

テニスクラブ存続のために必要なこと・・・

アメリカのテニスクラブでは20年前に比べてテニスをする人口は減っていますが、現在横ばい状態が続いており安定しています。需要が落ち着いてきているため、今後上向きになる可能性があると見られています。アメリカではテニスクラブが淘汰されるということまでには至っていませんが、テニスメンバーシップだけによる運営維持はかなり大変なところが多いという事実は見逃せません。ただ、アメリカの場合、テニスメンバーシップ以外をテニススクール事業でまかなおうという発想は、日本ほど強くないのです。

先ほどアメリカのテニスクラブには必ず、レッスンプログラムが存在しているとお伝えしましたが、それはスクール事業による運営サポートという発想ではなく、テニスクラブプログラムの充実という意味合いの方がかなり強いのです。

新しいテニスメンバーシップを獲得、または在籍しているメンバーシップの方々へのサービス内容の充実と向上というポジションでのスクールプログラムです。なぜならスクールビジネスに力を入れ過ぎるのはアメリカでは問題だと指摘されているからです。そうすることで、テニスメンバーシップの必要性和魅力が薄れてしまうからです。

テニススクールビジネスを充実させすぎると、テニスレッスンだけを受けに来る人ばかり増え、会員にならなくなってしまいます。そのため、テニスクラブにおけるテニススクールビジネスは必要である反面、それを収益の柱にしてクラブ運営をサポートするという発想でクラブを運営しているところはかなり少ない様です。また、黙っていても入会してくれる時代は当の昔に終わり、いかに現在のメンバーに納得してもらえる充実したプログラムを持っているかがメンバーシップの増減に大きな影響をもたらしています。これらのメンバーシップを維持するためにテニスクラブ側は沢山のプログラムを用意しなければなりません。そしてプログラムがすべての会員をカバーするものでなければ、例えばミセスだけに多くのプログラムを用意するだけでは、男性や子供たちを持つ若いカップルは入会しませんし、辞めてしまうケースもあります。プログラムの充実が必要なのは、テニスクラブに入会するに当たり、友達同士での入会という形はほとんどないからです。クラブへの入会は、ほとんどのケースで、個人もしくは家族会員での参加がほとんどのため、テニスクラブにあるプログラムを利用して、友達になったり、家族同士の付き合いが始まったりするわけです。ですから、プログラムが無いと、最初1人でクラブにいても誰も知らないし、プレイする相手がいらないため、そのうちつまらなくなって辞めてしまうケースが多いのです。

アメリカでのメンバーシップ獲得と維持にあたり、2つの大きなポイントは見逃せません。

1つめは、入会するに当たって、魅力ある充実したプログラムをテニスクラブ側が提供できるかということです。ここで入会するか否かが決められます。次は入会后、1～2ヶ月以内に充分なサポートをしてあげるということです。この2つをクリアすると会員定着率は高くなります。

一般的なテニスクラブで行われているプログラムは以下のようなものがあります。

- レッスンプログラム ジュニア、アダルト、など誰でも気軽に参加できるものでプライベート、グループレッスンなど
- ミセステニスリーグ 午前中を中心にレベル別に分け、ダブルスの試合をいくつも出来るようにセットアップしてあげるプログラム
- メンズナイトリーグ 夜6時以降、男性が集まり易い時間帯にダブルスを中心にした試合をいくつも出来るようにセットアップしてあげるプログラム
- シニアリーグ 午前早い時間に60歳以上のプレイヤーが集まってダブルスの試合をいくつも出来るようにセットアップしてあげるプログラム
- ラダー クラブの中で、少し真剣にやりたいプレイヤー用にランキングをつけるシステムレベル別になっているので、強いプレイヤーを倒すとランキングが沢山あがったりする
- パーティー ニューイヤー、サンクスギビング、クリスマスなど大きなイベントの時に全員を招待して行う
- ソーシャルタイム 朝ならドーナツとコーヒー、午前中はフルーツとサンドイッチ、夜はビールとチップなどを出し、コートへいく前、帰ってきた時にみんなの集まれる場所提供
- ニュースレター 毎月、クラブニュースを会員へ送る
- クラブトーナメント ファミリーダブルス、ミセスダブルス、ジュニアトーナメントを開催。基本的には会員のみ、または外部者も参加自由のトーナメントも開く
- フォーマルパーティー 年に1回、みな正装して参加するパーティーを開く

また魅力ある施設作りも会員を満足させるためにとっても重要な要素となっています。施設の老朽化は会員離れを起こすもつとも大きな要因なため、各クラブともに毎年のメンテナンスは欠かせません。そして現在魅力あるテニスクラブというのは、テニスだけをするところというより、トータルフィットネス施設が必要となってきています。なぜなら、現在の主流となっているのはフィットネスビジネスだからです。ですから、テニスクラブという施設を利用して、トータルフィットネスファシリティーに作り替えているケースが増えてきています。特に郊外型や地方のテニスクラブほど、トータルフィットネスファシリティーへと変貌しています。

またテニスクラブとしての機能としては、12面以上のテニスコートが要求されておりエリアによってはインドアも必要となっています。その他、エアロビクスルーム、プール、エクササイズルームとマシン、ウエイトジムジャクジー（泡風呂）なども必要な要素となっています。さらに、クラシックなテニスクラブではレストランも必要な施設となっています。

現在盛んなフィットネスは、ビジネスマンが仕事前、仕事後に一汗流して帰ったり、昼間女性の方が、体を鍛えるためにウエイトトレーニングやジョギングなどを楽しみ汗を流すというのが当たり前のようになっています。

フィットネスの形態も、フィットネス専門の施設として運営するところと、テニスクラブにフィットネスの要素を取り入れた施設の2通りに大きく分かれています。フィットネス専門の施設は現在24時間営業で行っているところも増えており、テニスクラブが生き残る道としてテニス&フィットネスクラブへと変化していくことと同時にフィットネス専門の施設とも戦わなければならないようになってきました。

しかし、競争を避けるためテニスクラブは独自のオリジナリティーをしっかりと出せるかというところが大きな勝負の分かれ目となっているようです。ただカリフォルニア州など、どちらかというところでは土地の値段が上がり過ぎていたためエリアの確保と建設費用の関係でそのような大きなテニスクラブやフィットネス施設の建設が大変難しくなっており魅力的なテニス&フィットネスクラブを新たに建てるのは難しくなっているのです。

クラブでの楽しみ方・・・

アメリカのテニスクラブはスポーツを通して汗を流す社交の場になっています。しかし、どちらかというところではアメリカでのテニスクラブという場所はテニスをする、スポーツをする汗を流すということが中心であり、日本のようにテニスに日常の場を持ち込むことは少ない様です。日本でしたら、例えば午前中に練習に来るミセスなどは自分のお弁当や飲み物を持ってお昼をみんなで和気あいあいとして食べたりしながら、一日をテニスクラブで過ごしますがアメリカではまずそのようなことはしません。テニスクラブにそういった日常を持ち込まないのです。たとえ食事をクラブで取るとしてもフルーツやサンドイッチを軽くつまみ会話を楽しむ程度です。

夕方に訪れる男性会員もビールを飲むことはありますが、決して3杯も4杯も、ましてや酔っ払うほど飲むことはとても少ないのです。喉が渇いたので、それを潤すために水ではなく、ビールを飲んでいるのです。テニスクラブで酔っ払うということはこの上なく恥ずかしい行為なのです。

また、テニスをする時間ですが、クラブには3時間以上いることはまずありません。どんなに長くても、テニスを2時間ほどプレイし、みんなとおしゃべりしてシャワーを浴びたら、帰っていきます。日本のように、テニスクラブに半日、または1日いてプレイする方はほとんどいないのです。ですから、テニスクラブでの楽しみ方は日本の方に比べて、非常にライトな感覚なのです。それは、スポーツがアメリカでは生活の一部になっているため、逆に丸1日かけてスポーツをするという感覚が無くなっているからです。

最近のスポーツに対する感覚はさらにライトなものになってきており、カフェラテを片手にテニスを楽しむという感覚でテニスをしています。ですから、アメリカでのテニス会員のテニスの楽しみ方は、日本でのスクールに通っている方のテニスの楽しみ方ととても似通っています。スポーツがどんどんライト感覚になってきているため、ゴルフも一時期のような丸一日かけてでもやりたいという方が少なくなってきました。スポーツが生活に密着すればするほど、手間と時間がかからず、なまった体を動かし汗を流すことが出来るものにどんどん移行しています。

日本、アメリカを問わず、今後テニスをプレイする人口を増やすには手軽で気楽に出来るテニスをいかに提案し、提供できるかが課題なのではないでしょうか。

資産の保全・活用にプロの知恵

100年財産コンサルティングを提

現在ほど、個人資産をどう守っていけば良いのか、資産運用のノウハウ問われる時代はないのではないかと。そんな時代に、どの金融機関にも属さない独立系財産コンサルタント「船井財産コンサルタンツ」が注目されている。

Q 財産コンサルティングといいますが、どのようなサービスをされるのですか？

A 当社は経営コンサルタントで知られる「船井総研グループ」の一員であり、経営コンサルティングを通じて、経営者や投資家の個人資産の保全・運用についてご相談をいただくことが以前からありました。そういった背景から、1991年（平成3月）9月に、個人に対する財産コンサルティングをテーマに船井財産コンサルタンツをスタートさせたのです。

財産コンサルタントというと、ファイナンシャルプランナーを想像する方も多いと思いますが、我々は確定申告書をベースとした財産コンサルティングであり、不動産や有価証券など、すべての財産をトータルで判断しています。

現在、首都圏で総資産5億円以上、地方では2億円以上の資産をお持ちの方が平均的なお客様です。お客様は、グループ会社の船井総合研究所や金融機関、当社の株主である大手企業などから紹介のあった方たちが大半です。こうしたお客様に対し、全国19ヶ所の拠点で対応させていただいています。

「何もしない方がいい」と言える、独立系ならではの顧客優先コンサル

Q いわゆる欧米型プライベートバンキングと異なるのですか？

A 何十、何百億円という巨額の総資産をお持ちのお客様を対象に、「執事」のようなサービスを提供する、という欧米のスタイルとは全く異なります。弊社ではスタッフがご自宅に何度も伺い、信頼関係を築く。永年にわたるコンサルティングを通して、顧客第一主義を貫き通す、新しい形の日本版プライベートバンキングを目指しています。

また、我々の最大の特徴は、独立系であることです。ですから金融機関や不動産系、ハウスメーカー系の



（株）船井総合研究所グループ
総帥 船井 幸雄



船井財産コンサルタンツ
代表取締役社長
平林 良仁



取締役
秋山 哲男



税理士
岡 良二



コンサルタント
牧野 孝彦



コンサルタント
本 純

コンサルティングと異なり、当社は特定の金融商品や不動産をお客様に奨める必要がないのです。売るものを何も持たないからこそ、あらゆる選択肢からお客様に最適のものをお奨めすることができますし時には「何もしない方が良いでしょう」と申し上げることもあります。

当社は税理士をはじめとして不動産鑑定士、一級建築士、公認会計士など、様々な資格を持つスタッフを揃え、長期にわたって完全個別対応資産家コンサルティングを実施しています。案件によってはプロジェクトチームを結成して、最適な総合アドバイスを提供しています。

日本は、現在少子化・人口減少の道を歩み始めており、その結果、不動産価格の不透明度が高まり、今後の活用の仕方でも大きな差が生じる可能性があります。

そのため当社では課税総資産に対して10%の収入を得られるようなアドバイスを「10（イチマル）作戦」と名付けて展開しています。5億円の総資産をお持ちの方は、毎年5000万円の収入が得られるような資産運用をプランニングするわけです。

お客様の利益を第一に考えたコンサルティングができるのです。

供
ハウが
トであ

夢創造

-よみがえる21世紀-

Funai
Zaisan
Consultants

テニス事業の 成功例

事業全体の見直し

経営がふるわない、このままでは将来が見通せない—という悩みをお持ちの方もいらっしゃると思います。そんなときに相続の問題が起きると、いっそ閉鎖を考えたくなるわけですが、逆にそのときこそ事業全体を見直すことから、打開の道を見出すべきです。次のケースは、個人オーナーで事業をされ、会員制テニスクラブのアウトドア12面のコートで経営されている方の実際例です。

財産評価額は18億円で相続税額は7億円。社長が亡くなって相続が発生した場合、現金がありませんのでテニスコート半分を物納しなければなりません。これではテニスクラブは続けることができません。

そしてこの方の場合、経営状況を見てみると、固定資産税の負担が重く、固定資産税と従業員の給料などの経費を払うと、利益はほぼゼロでした。はっきり言って良好な経営状況ではありませんでした。

現在の経営状態も苦しいうえに、将来の相続が発生したら、選択の余地なく閉鎖せざるを得ないという状況です。そこでこの二つの問題「経営的に利益が出る仕組みをつくること」「相続税を払うことができるようにすること」を同時に解決する方法が必要です。

打開のための三つのポイント

具体的には、以下のような三つのポイントから改善策を検討しました。最初に経営的に利益が出る収益力の強化策として、①会員制のみのテニスクラブから、インドアスクール主体の運営に変更する。②アウトドアテニスコートの一部で別事業（賃貸事業）を展開。テニス事業と別事業の併用により、安定した収益力を確保する。

そして、気がかりな相続税については③別事業用地の底地を物納として納税する方法をとる。こうすれば事業はそのまま底地のみ物納することによって、相続税として国に納めた土地を国から借りて、賃貸事業を続けることができるのです。つまり、今まで支払っていた固定資産税のかわりに国に地代を支払うのです。しかし、地代は通常、固定資産税の2~3倍ですので、それを払うことのできる収益が必要になります。一見不利に思えるかもしれませんがこれで相続税の本題は決着したわけです。物納した土地は国のものでもその上に建っている建物は経営者のもの。こうすると、事業を継続しつつ、物納した土地を将来買い戻せる可能性も大きく残されてきます。こうした対策の結果、二つの問題を同時にクリアし、なおかつ財産評価額も12億円となり、売上は飛躍的にアップしました。物納後、無理なく国への地代の支払いもできるようになりました。

対策前



対策後



$$\frac{\text{テニスクラブの事業性投資利回り・利益(売上)}}{\text{財産価格(土地・建物の価格)}} \geq 6\% \quad \text{6\%以上が健全経営!}$$

お問い合わせ先

船井総合研究所グループ
株式会社 船井財産コンサルタンツ

【本社】
東京都港区芝3-4-11
芝シティビル
TEL 03-3454-7172

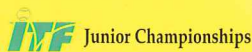
【事業本部】
東京都武蔵野市境2-14-1
スイング4階
TEL 0422-52-6734
FAX 0422-52-6788

URL <http://www.funai-zc.co.jp/> 担当 牧野・榎本



Choice
of the
World.

世界を狙うならWilsonの新性能ボール、ダブルコア。



National Collegiate Athletic Association

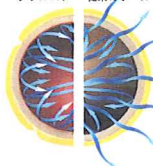
TORAY TENNIS



全国高等学校体育連盟テニス部公認

DOUBLE CORE
DOUBLE LIFE

ダブルコア 従来のボール



世界初のエアーディフェンス・テクノロジーによる2重のコアがエアー抜けを防ぎ、新世代カバー“サプリーム・プレイ・フェルト”が耐磨耗性能を飛躍的に高めたWilson・ダブルコア。スタンダードボールの約2倍の耐久性を実現します。手にすれば解る、打てば感じるテニスの新世界水準。

Wilson・ダブルコア/2個¥800/4個¥1,600(税別)

アマスポーツジャパン株式会社 カスタマーセンター Tel.03-5755-6670 wilsonsports.com



東西テニスクラブ事情

クラブビジネス・コンサルタント 飯田 浩一

1. ロスアンゼルスでのテニスクラブ事情

ちょうど10年前の1992年、南カリフォルニア・テニスクラブマネジメント協会 (TCMA) 会長のスペンサー・ギャレット氏は、第4回テニス産業セミナーのゲストスピーカーとして、日本で講演を行いました。

その時の講演では、ロスアンゼルスでの21箇所のテニスクラブの運営形態について、スライドを使って紹介いただきました。それぞれのクラブがテニスブームの中で独自性を求めて、様々な施設やサービスを取り入れていたことが当時の資料からわかります。

ギャレット氏に10年後の現在、南カリフォルニアのテニスの中心地、ロスアンゼルスおよびその近郊のテニスクラブ事情はいかかなものか尋ねてみました。

「当時から兆候が出ていたことですが、純粋なテニスクラブというのは非常に少なくなり、代わってフィットネス等との複合施設への転換が目立ちます。10年前には「顧客サービス向上」という意味合いが強かったフィットネスの併設は、現在は経営上の利益拡大のために、積極的に導入されています。ロスアンゼルスでも土地コストの上昇は著しく、採算の困難なテニスクラブ事業から撤退する加盟クラブが相次ぎ、TCMAも活動休止状態の時期がありました。

しかし、高収益事業との複合化を図り、結果的にテニス事業を立て直したクラブが次々出現したことにより、テニスは再び人気を取り戻して現在は活況を呈しています。」

ちなみにギャレット氏のテニスクラブは、3年前から宿泊施設を併設しているそうです。

2. デンバーのテニスクラブに見る

コート運用システム

アメリカの多くのテニスクラブでは、たとえば会員制であっても「時間予約」によるプレーが主流となっています。

コロラド州の「デンバー・テニスクラブ」では、会員になるために入会金1,100ドル(約135,000円)を払い、あとは年会費415ドル(約50,000円)を納めれば一切追加料金はかかりません。

ただし、実際にプレーをするには、事前に電話予約することが条件になります。電話予約は24時間受けられ、音声自動応答システムで自分の希望時間帯をブロックします。機械操作が苦手な人は、ダイヤルの1番を押すとスタッフが応対してくれますが、これは昼間の時間帯だけなので、結局機械で予約する人が優先されます。

また、予約は1日1回90分まで、と制限があります。こうしたかなり厳格な予約システムに対して、「面倒だ」という会員がいることはほぼ同じ。

そこで予約対象外のコートも数面用意されていますが、こちらは完全な「先着順」。しかも一旦順番待ちの列に加わったら、「ちょっとそこまでコーヒーを」という離脱も認められない、これまた大変厳しいルールになっています。

しかし、予約や待ち時間に関する苦情はほとんど無く、会員には定着したシステムと言えます。

このクラブは、市の中心地から車で15分という非常に便利なロケーションにあり、12面のコートで会員数は700人以上だそうです。都市型クラブの1つの生き残り策と言えるでしょう。

3. シカゴのテニスクラブの

ユニークな会員サービス

アメリカ最大のテニスクラブ運営会社(いわゆる経営アウトソース受託会社)であるTCA社は、シカゴを中心に40箇所のテニスクラブを運営しています。シカゴと言えば冬の寒さとミシガン湖から吹き付ける強風で有名で「ウィンディーシティ」との別名があります。この気象条件はテニスクラブには相当厄介で、事業者の頭の捻り所となります。

TCAの場合、全てのコートはインドアで、1年中快適なプレーをうたっていますが、全米第3の都市ですから需要も相当なものです。当然時間予約制や早朝会員などコートの稼働率向上の施策は導入していますが、さらに目玉となっているのが「パドルテニス」。これはテニスコートを約1/3の大きさに縮小して、穴あきボールと卓球ラケットのようなパドルで打ち合うと言うもの。ショートテニスに似ていますが、ボールの速さや打ち返す力などはフルサイズのテニスにより近く、結果的に十分な運動量が得られます。

事業者にとっては1/3のスペースにメンバーを入れることで、キャパシティを向上させることが出来ます。「テニスは1回に4人しかプレーできないから」というのは事業者の共通の悩みですが、気象条件をその解決に利用してしまうあたりは、感心させられます。なおTCAは、クラブ内にスターバックス・コーヒーの小型カウンターを設置していますが、これは世界でも初の導入例で会員からの評判も上々とか。

4. 上海テニスクラブ事情

経済開放が著しく進む中国では、沿海地方を中心に富裕層が出現を始めています。

ゴルフ、自家用車、ナイトクラブなど、これまでは外国人や一部の特権階級のレジャー市場であったものが、どんどん「ニューリッチ」族に広がっています。

テニスもまさにそういった「カッコいい」レジャーの代表です。「お金持ちは善」であり、「健康は何より大切」な中国人にとって、テニスの持つハイソサエティ・イメージと充実感のある運動量が受けているようです。

上海中心部にある「上海国際網球中心倶楽部(Shanghai International Tennis Center Club)」は、トップエグゼクティブのためのクラブを標榜するだけあって、年会費は30,000元(約450,000円)、コート利用料は1時間で250元(約3,750円)となっています。3時間もプレーすれば、広州あたりの工員の月給に相当する額になってしまう計算ですが、上海の富裕層が入会待ちの列をなしているそうです。

ちなみにこのクラブではコーチによるプライベートレッスンが受けられますが、その料金は1時間で150元(約2,250円)。一方、日本でも流行の足裏マッサージも提供されており、こちらの料金は30分で250元(約3,750円)です。「健康」に対する経済観念は、独特のものがあるようです。

以上駆け足で、アメリカ、中国のテニスクラブ最新事情をご紹介します。日本では一子相伝の色彩が濃いテニスクラブ事業ですが、潜在的プレーヤーをまだまだ取り込めるはず。クラブ事業に立ちはだかる困難な条件も逆手に取り、上手に需要を掘り起こすこうした海外の事例には、いろいろなヒントがあるように思います。



TOALSON® 2003

新素材ストリング 衝撃デビュー

トッププロ

社会人

学生

高校生

アスリート系プレイヤーがまちかねた

最高の耐久性を発揮。

従来のナイロン・ストリングにはない最高の耐久性と、他素材におこるハード感や、商品の硬化現象などで起こる体へのトラブルを無くす、新素材の特殊高弾性・高強化ナイロン(サイバーナイロンツアー)を使用する事で、多くのハードヒッター・スピン型プレイヤー、学生、トップレベルのプレイヤーが満足して毎日使用して頂ける商品です。当社比約50%の耐久性UPを含め、反発性、コントロール性能で高い数値を計上。更にセラミックパールコーティングによりもう一ランク上の耐久性・反発性を持ったダブルパフォーマンスストリングです。


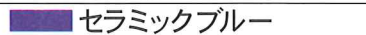



CYBER NYLON TOUR 135 L.E.O.

サイバーナイロンツアー[135レオ]

¥1,900 ロール240m / ¥28,000

■ゲージ/1.35mm ■規格/13.5m ロール240m

COLOR	
	セラミックホワイト 7103510W
	セラミックブルー 7103510B
	セラミックホワイト240m 7103512W

TOA-STRINGS CO.,LTD.
東亜ストリング株式会社

本 社 〒651-0078 神戸市中央区八雲通3丁目1番24号
PHONE:078-232-1991(代表) FAX:078-232-0213
<http://www.toalson.co.jp>



「エクアドルテニス事情」

エクアドルテニス同好会 田邊正裕
2002年10月21日
バナナ・アバカ農園／輸出会社経営
エクアドル・キトー在住、約35年

エクアドルと言う国は日本での知名度はかなり低い。エクアドルは南米の一小国で、太平洋側に面した赤道直下の国である。ご存知の方もあろうが、エクアドルという言葉自体「赤道」という意味である。エクアドルの国の真ん中にアンデス山脈が縦断しており、東部にアマゾン地帯、中央部に山岳地帯、西部に海岸地帯と気候風土もはっきりと3地帯に区分されている。大陸から西、約1000kmにガラパゴス諸島があり、これを含めるとそれぞれ特徴をもった4地帯に区別できる。

首都キトは山岳部に属し、海拔約2800mに位置する。空気希薄だが、年中春日和、年中テニス日和である。気候的には非常に恵まれたところで年中テニスが出来る、環境も整っている。一般市民もわりと簡単に出来るスポーツと言える。全国的にコートはほとんどがアンツーカーである。

まず、キトでいきなりテニスをする和高地未経験者は5分と持たない。何せ空気が希薄なため、息がすぐ切れる。最初慣れるまでは5分打っては休み、また5分打っては休むと言った具合にしなければ息が苦しくてもたない。驚くことにテニスボールが気圧の関係でパンパンに張ってよく弾む。空気はよく乾燥しているし、加えて空気抵抗が少ないため、これが実に良く飛んでくれます。低地でロブを得意とする人は高地ではかなり苦労します。ラケットにチョンと当てただけでボールはすぐにエンドラインを越えて行きます。

スピンもかかりにくい。したがってスピンサービスもなかなか苦労します。ボールがバウンドしてからのボールを待つ位置についても、低地に比べ一歩以上は後ろで待たねば食い込まれます。なんと厄介な所だと思いでしょ。

ところが高地テニスも悪いことばかりではない。何が良いかと言うとボールを打つ力が省エネですみます。つまり、軽く打ってもボールは勢い良く飛んでくれます。シャープな球が出ます。スマッシュを相手のまん前に打つてもたいてい返ってきません。

逆に高地テニスに慣れて、たまに低地でやると前につんのめるわ（打点は一歩手前になるため）、ボールを一生懸命ひっぱたいても飛んでくれないわ、スマッシュをまともに返すといくらでも球は返ってくるわ、で非常に疲れます。皆さんも一度試されてみては？

エクアドルは、テニスが比較的盛んな国です。比較的というのは、南米どこでもそうですが一番ポピュラーなスポーツといえばやはりサッカーですから。しかし、エクアドルは歴史的にみてもサッカーよりテニスの方が世界的に有名なプレイヤーを出しています。

まず、1940年代に活躍したパンチョ・セグーラ。彼は幼少時代に小児マヒを患い、足が少し不自由ながら両手バックの名手である。後の新星、ジミー・コナーズのあの両手バ

ックの生みの親であることは皆さんご存知であろうか？

また、エクアドルは1960年代後半にデ杯地区予選でアメリカを破った実績を持っている。1980年代には若手選手が続出し、その頃、リカルド・イカサが全英オープンジュニア大会で準優勝。ラウル・ビベール（現エクアドルデ杯チーム監督）が、USAのジュニア大会、オレンジボールに優勝するなど続々若手選手が活躍した。

その中でジュニア時代には、メインタイトルこそ無かったが、ATPプレイヤーとして一際目立つ活躍をしたのがアンドレス・ゴメス（現在42歳）である。自己ベストランキング、ダブルス1位（1986年）、シングルス4位（1990年）、マスターズ大会にも何度も顔を出し、1990年には全仏オープンでアンドレ・アガシを破りメジャータイトルも獲得、通算でATPタイトル数21、ファイナリスト14回という輝かしい成績を残し、エクアドルテニス界のみならず、エクアドルスポーツ史上の英雄となっている。

現在エクアドルの現役プレイヤーといえばニコラス・ラベンティで、現時点（2002年10月21日）ではATPランキング29位であるが、1999年にはトップテンに入りマスターズ大会に出場した実績を持っている。

又、2000年7月、ラベンティ兄弟を中心としたエクアドルデ杯チームは敵地ロンドンのウィンブルドンにてイギリスチームを破ってデビスカップワールドシリーズに参戦したことも記憶に新しい。上記選手等はいずれもエクアドルの港町であるグアヤキール市（エクアドルの最大都市）出身である。つまり、全員が低地出身者であるところを見ると、どうも高地からは名プレイヤーは生まれにくい。

さて、エクアドルでの日本人のテニス活動であるが、一時から比べると最近の在留邦人数の減少により、やや低迷していることは否めないが、まだまだ根強い愛好者たちによって引き継がれ、毎週末日本人学校のテニスコートを賑わせている。

日本人のテニス活動といえばエクアドルでは是枝隆定氏を抜きには語れない。同氏は1965年に古川拓殖KKのG.M.としてエクアドルに在勤されて以来、定年以後もキトに残留されて1995年日本にご帰国されるまでの30年間、日本人テニス愛好者のために女性子供問わず、初心者から上級者までを相手に、時には「コーチ」となり、時には「壁」になりで一生懸命尽くされた。1989年にはキト日本人学校校舎建設に伴い、同氏のご尽力によりテニスコート2面も同敷地内に建設され、日本人のために気軽にプレイ出来る環境も出来上がる。

こうして30年間の間にエクアドルに滞在されたテニス愛好者の数は膨大なもので、殆どがKoreeda Tennis School (K.T.S.)の経験者であり、その輪は未だに健在である。

その当時のエクアドルの日本人テニスは、かなりのレベルで日本から時々テニス上級者が鳴り物入りで来られるが、こちらは高地経験を十分に生かし、たいてい最初はエクアドル組みが勝つという結果。その上級者は今度はエクアドル在留組みとなり、また一段とレベルアップしていくという具合だった。小生はエクアドルに残る是枝氏の愛弟子の一人であるが、同氏の愛弟子は今ではエクアドルを基点に世界中に広がっている。

是枝氏は、現在82歳のご高齢ながら千葉県某テニスクラブにてテニスを続けられ、時々エクアドル時代の元K.T.S.経験者たちとも日本でテニス同好会を開いていると聞く。エクアドルのテニス同好会も現在高齢化が進み一昔のハードプレイからは遠のいているが、誰でもいつでも楽しめるテニスは引き続いている。



テニスクラブ経営支援システム

アドバンテージ PRO 2003

クラブ経営の 全てをサポート

クラブ毎の カスタマイズ OK

運営形態に 完全フィット

安心/充実の サポート体制



- 基本設定
- スタッフ管理
- 顧客管理
- コース/コート管理
- 予約管理
- 受付管理
- 請求入金管理
- 経営参謀



- 販売管理
- 在庫管理
- 仕入・支払管理
- ラケット管理
- ロッカー管理
- スタジオ管理
- フィットネス管理
- 託児室管理
- 受付タッチパネル
- リライトカード
- Web予約システム
- Webコミュニティサイト

様々な場面での効率化とイメージUPを実現。



受付タッチパネル



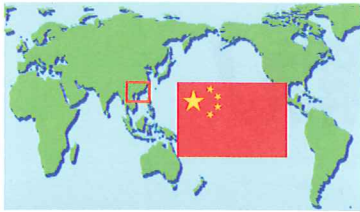
リライトカード



Web予約
Webコミュニティ

動作環境: WindowsXP.2000.NT.Me
 (スタンドアロン版、ネットワーク対応版)
 導入実績: 現在10クラブ様で稼動中

開発・販売・お問合せ・資料請求 株式会社 ピー・アール・オー
 〒231-0021 横浜市 中区 日本大通7番地 日本大通7ビル 5F
 営業担当: 長江/枝元 TEL: 045-227-5611 FAX: 045-227-5613
 Mail salesman@pro-japan.co.jp ホームページ <http://www.pro-japan.co.jp>



「香港のスポーツクラブ」

奥谷幹生

Indian Recreation Club メンバー

香港には20以上のメンバーズ・スポーツ・クラブが存在する。1997年の中国への返還前までは女王陛下がパトロンだったロイヤルの付くクラブが3つあったがそれらもこの種のスポーツクラブだ。現在はロイヤルが外されたが、純粋にメンバーの為のクラブでメンバーが選出する理事会が運営する。香港政庁より土地を安く貸与され税も免除される。

インディアン・レクリエーション・クラブ（Indian Recreation Club、印度遊楽會、以下IRCという）も同様で設立は1917年と言うから相当古い。

古いと言えば19世紀の第二次アヘン戦争以前に設立されたクラブも結構あり、其の他に香港政庁の各部門や大会社が持つ職員の為のスポーツ施設も古くから存在する。

また、過去20年間にレジデンシャル・クラブが数多く出現した。デベロッパーが開発する集合住宅、アパート、マンションに付随する、スポーツ施設を使用する居住者クラブである。どのクラブにも大体テニスコートとプールが付いている。それがゴルフ、ヨット、ジョッキ、フットボール、クリケットと頭に別のスポーツ名の付くクラブであっても…。ただIRCにはプールはない、印度人は日本人同様プールで泳がなかったのか…。

IRC概観

IRCは、繁華街コースウェイベイ（Causeway Bay、銅鑼灣）の地下鉄から徒歩7分。このあたりにはスポーツ施設が多く、周辺には11ものテニスコートを持つ施設がある。毎年3月ラグビーセブンの世界大会が開催される香港スタジアムはお隣さんである。

IRCは総面積1万1千平米（約3300坪）の敷地にハードコート4面と人工芝コート2面を有し、コモンウェルス諸国（旧大英帝国関係諸国）ではクリケットと並んで今でも盛んなローンボーリングのヤードを併設している。きめ細かに良く手入れの行き届いた芝生上でのローンボーリングはアメリカへ渡ってテンピンボーリングの原型になったとも聞かすが全く違ったスポーツに思える。芝目を読んだり白いボールに手玉を出来るだけ近づける事を目的とするこのスポーツはむしろゴルフのパッティングに近いとも言える。

クラブハウスを除けば他の部分は一面の芝で、幼稚園などの運動会に利用されたり、ラグビーセブン開催時のお祭り広場になったりする。つい最近までは夏場の週末には天然芝テニスコートとしても使っていた。気温はハードコートほどは上がりず脚にもやさしく結構人気があったし、テニス発祥の頃を偲ばせる雰囲気もあったのだが…。

クラブハウスにはバドミントンコートが1面、ジム、麻雀やポーカー、ブリッジや小会議に使える部屋が2つ、バーとレストラン、男女ロッカールーム・シャワー・トイレそれにクラブ事務所が詰めこまれている。レストランでは当クラブ設立に当たった印度人達の宗教的な理由から豚肉は出ないが、印度人シェフによる本格的な印度料理が安く美味しく。各種カレー、サモサ、タンドリーチキンなどお薦め料理で勿論ナンも焼立てで本物である。外の芝生でのバーベキューも10人位から用意してくれる。シャワーも浴びずに薄くなった

空の一番星を見上げながら飲むビールの最初の一口は正に至福の瞬間である。

IRCのテニス

IRCには数々の日本人メンバーがいた。数人の時もあったし20人前後の時もあった。数人の半永住組を除けばほとんどの日本人メンバーが香港駐在員で数年で転勤になる。

学生時代に同好会や体育会で活躍したプレーヤー、インカレ、全日本クラスのプレーヤーもいてIRCのテニスレベルの向上に大きく貢献した人もいる。香港でテニスを始め20数年経っても余り上手くならないプレーヤーもいる。実に多士済済なのである。

IRCで一週間に少なくとも一回テニスをすると言うアクティブなメンバーは現在50名足らず。ウィークデイの昼間はほとんどプレーヤーの姿は見当たらないが夕方4時くらいからコート上に人影が見え始めフラッドライトの灯く頃は2・3面が埋る。週末はコートを予約する必要がなく一人でクラブへ行っても25香港ドル（約400円）払えば居合わせたメンバーの誰か彼かと終日プレー出来るオープンコートシステムを取っている。正真正銘下手糞プレーヤーの私が全日本クラスのプレーヤーと打って貰う事もある。施設はともかくメンバーが一級である、非常に友好的なのである。

入会金は日本円で約19万円で伴侶は半額、月会費は一人当たり約6千5百円である。

香港のテニス

香港のテニスがここまで盛んになったのは香港テニス協会の功績大である。香港テニス協会の様々な活動の中で先ずクラブ対抗リーグ戦から。香港テニス協会が主催するクラブ対抗リーグ戦がサマーリーグ・ウィンターリーグの2期あり2・3ヶ月に渡って各クラス10チーム前後のラウンドロビンが繰り返される。プレーヤーが過去の成績に基づき、スーパーA、A、B、C、D、Eの6クラスに分けられている。男・女・ミックスダブルスのリーグがある。3ペアのダブルス1セットずつ総当りで計9セット、チームが5セット以上勝てば勝ち点になる。プレーヤーの多いクラスは2・3グループに分かれグループの優勝者同士がプレーオフを行ってクラス優勝者を決定している。

我がIRCはスーパーA、B、Cの3クラスにチームを送りこんでいる。スーパーAチームは優勝ねらい、他の2チームは残留ねらい。このリーグ戦は各チーム週一回ウィークデイの夜7時スタート、ホームでのプレーが半数、後半数はアウェイとなる。遠い場所にあるクラブもあるが、近ければ10分遠くとも一時間以内で到達出来る香港ならではのシステムである。この他女性プレーヤーだけのモーニングリーグもある。2ペアの総当りだが同じペアに2度づつ対戦するので計8セット、プレーヤーは4セット続けてプレーしなければならない。香港に住む女性は国籍を問わず心身共にタフである。

三大オープンテニストーナメントの開催も年間の大きなイベントである。内2つのトーナメントはSouth China（南華會）、CRC（中華遊樂會）のクラブメンバーのボランティアに大きく支えられている。いまひとつのハードコートトーナメントはヴィクトリア公園のパブリックコートで開催、これもまた多くのボランティアに支えられている。これらのトーナメントは誰でも参加出来る。本選は32ドローで内16がシードで残り16が予選通過組である。毎年世界のトップテニス選手が数名参加するセーラムオープンなど海外の選手達が参加するトーナメントも年に数回催される。ジュニアの育成にも力を入れていて強化トレーニングや海外遠征など精力的な活動を続けている。

詳しくは香港テニス協会のウェブページ

www.tennishk.orgを参照頂きたい。

インドア化に対する不安と疑問を、すべて解決!

室内型スポーツ施設のオーソリティ、 太陽工業がご提案する 究極の「規格型インドアテニスドーム」。

膜構造によるインドアテニスドームは
優れた透光性でアウトドアの開放感とインドアの快適性を実現しました。
その魅力を効率的かつ低コストでお届けするため、あらゆる角度からの検証と、
著名スクールのノウハウを反映して遂に完成したのが「規格型インドアテニスドーム」です。
各種仕様を取り揃え、ご予算、ご要望に応じて最適のプランを安心してご選びいただけます。

セルフクリーニング機能により
美しい外観を長期間保ち続けます。

ドームの膜材には、汚れを科学的に分解する画期的な新素材、酸化チタン膜材を採用。
長期に渡って美しい外観を保ち、膜構造のメリットを最大限に発揮することで
従来のテニスドームにはない魅力をお届けします。



▲完成予想パース



参考物件: ノアインドアステージ大阪

太陽工業株式会社

大阪 〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-8-4 TEL06-6306-3065

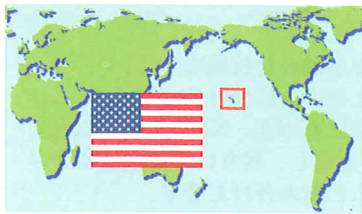
東京 〒153-0043 東京都目黒区東山3-22-1 TEL03-3714-3461

名古屋・札幌・仙台・広島・福岡・さいたま・千葉・新潟・沖縄

一級建築士事務所 特定建設業者大臣許可(特-8)第381号

(社)日本テニス事業協会協力賛助会員 (社)膜構造協会正会員 (社)日本体育施設協会特別会員

<http://www.taiyokogyo.co.jp>



「ハワイのテニス事情」

公文 康博

日本から毎年100万人以上の観光客が訪れる南の島ハワイは、テニス愛好家にとってもパラダイスです。ワイキキのあるオアフ島だけでも46のパブリックコートがあり、面数も180面以上、大半のコートはナイター設備完備、しかもその全てが無料です。カピオラニパークのテニスコートのようになんとオールナイトでプレーできるところまであります。

また学校のテニスコートも休日には一般開放されているので、日本のように何ヶ月も前から予約をしたり、高いコート利用料に悩むことはまったくありません。

パブリックコートの基本ルールは45分交代で誰も待っていないければ何時間でも出来ますが、誰かがコートサイドで待ち始めたら、それから45分経った時点で交代しなければいけません。皆ルールはよく理解しているので揉め事が起こる事はまずありません。

朝の7時過ぎには早起きのプレーヤー達でコートは既に賑わっています。日中は、暑さでコートが空くのを知っているシングルスプレーヤー達が炎天下で熱い戦いを繰り広げています。夕方になると常連や、郊外に向かう交通ラッシュが収まるまで、時間潰しを兼ねてゲームを楽しむ人達がやって来て、お互いに声を掛け合ってダブルスを楽しんでいます。そして夜はホテルや観光業で働く人達や夕食後の家族連れが、気持ちのよい風に誘われてやってきます。こうして、パブリックコートでは夜明けから深夜まで、いつもテニス大好き人間が夢中でボールを追いかけけているのです。

おおらかで気楽な環境でゲームを楽しむ地元の人達には、ハワイならではのローカルルールがあります。まずサイドチェンジは3ゲーム毎にします。これは単に奇数ゲーム毎の交代が面倒なだけです。奇数ゲーム毎のサイドチェンジに慣れている日本人は、時々ゲームスコアがわからなくなるので要注意です。ゲーム前のウォーミングアップはラリーとボレーだけで、サーブの練習はまずしません。その代わりに各サーバーは第1ポイントに限り、サーブが入るまで何球でも打ち直しできます。「ファースト・グッド」または「ファースト・ボール・イン」(略してFBI)などと呼ばれています。サービスが入った時点からゲーム開始です。運悪く(?)、最初のサーブが入ってしまうこともあります。

ゲームでは3個のボールを使います。サーバーが2個ボールを持っていれば、3個目は拾わないでプレー続行です。最初は気になりますが、球拾いの回数が減って合理的です。ちなみにハワイでは2個入りのボール缶はほとんど売られていません。スコアの数え方やコールも簡略化されています。もちろん国際テニスルール(?)通りでもまったく問題はありますが、ローカルプレーヤーは15-30はワン・ツー、30-30はツー・アップ、30-40はツー・スリーといった具合とにかく簡略化してコールします。

また、テニスウェアにもまったくこだわりがなく、Tシャツやタンクトップにビーチパンツというのが基本、上半身裸の男性もよく見かけます。たまに観光客が上下揃いのテニスウェアを着て登場すると、かえって目立ってしまいます。

ハワイのコートはほぼ100%ハードコート(砂入り人工芝コートは私の知る限りオアフ島で7面のみ)なので、テニ

スシューズ以外にもバスケットシューズ、クロストレーニングシューズなどを履く人も多く、ビーチサンダルでダブルスをする人もいます。(ふだんから履き慣れているせい、これが意外に動きもよくゲームになるのが不思議です)とにかく消耗が激しいので、素材や機能より、安くて丈夫というのがローカルの人達にとっては重要なようです。また日差しが強いのでサングラスは必需品です。

ふだんのゲームはこんな感じですが、全米テニス協会(USTA)が主催する草トーナメントでは正式ルールが適用されます。ハワイに限らずアメリカで草トーナメントに参加しようという場合は、一部の対象外大会を除けばUSTAのメンバーになる事が前提条件になります。年会費は20ドル、メンバーになると会員証と毎月テニスマガジンと会員誌が送られてきます。

盛んに行われているのはレベル別のチーム対抗リーグ戦です。男女ダブルス、ミックスダブルス、シニアリーグなどが年間を通して行われています。まず各島毎に毎週末試合が行われ、各島の優勝チームが今度はハワイ州代表の座をかけて試合をします。ハワイ州代表チームはアメリカ本土で行われる全米大会に出場できます。ハワイのテニス愛好家の多くはこの全米大会に出場することを夢見て頑張っているのです。このレベル分けはレーティングと呼ばれていてアメリカではテニスの技量を判断する目安となっています。日本での中級が3.5中上級が4.0~4.5カレッジの選手が5.0~5.5といったところでしょうか。個人の成績は全てUSTAのハワイ支部で記録され、成績のいいプレーヤーは翌年は昇級します。どの大会でも同じようなレベルの人と競い合えるので公平なシステムだと思います。

さて、パブリックコートが数多くあって気軽にテニスができるせい、ハワイにはテニスクラブはあまり多くありません。ここ数年で閉鎖したクラブや、コート面数を減らしたりと状況は苦しいようです。各クラブにはUSPTAの資格を持ったインストラクターがいて、グループレッスンを行っています。特に夏休みには大人だけでなくジュニア向けのプログラムも用意されていて日本からも参加者が増えています。ここにも「テニスの王子様」の影響がでているようです。プライベートレッスンも可能で1時間30~45ドルぐらいで受けられます。

日本人は何かを始める時には「まず習う」という発想がありますが、こちらではとにかく適当にやってみて楽しければ続ける、周囲からフォームのことをとやかく言われたりすることもないので、相当長い年月やっている人でもまったくの自己流という人もよく見かけます。「格好はどうでもいい、要はコートの向こうに返せばいいだろう?!」といった感じでした。

USTAは主だったパブリックコートで週3回、2時間無料、または超低額のレッスンを大人と子供向けに行っています。これは技術向上というよりは底辺拡大が目的です。初心者からレッスンを受けようという場合は、プライベートレッスンを受けるか、テニスクラブやコミュニティーセンターなどが主催するテニスプログラムに参加することになります。テニスクラブはUSPTAのインストラクターが教えるのでレッスンのレベルも水準以上です。コミュニティーセンターなどの場合は学校の体育教師などがボランティアで教えてくれるので費用が安いのが魅力です。

ハワイ州はスポーツ・ツーリズムというコンセプトでテニスアカデミーのような施設を作って、日本やアジアからテニスカンパやトーナメントを誘致したいと考えています。ロケーションと気候的には最高の条件を備えているので是非実現して欲しいものです、更に詳しいハワイのテニス事情は下記をご参照下さい。

<http://www.geocities.co.jp/SilkRoad/1423/tennis.html>



メキシコテニス事情
「週末の楽しみ」

カトレック・メキシコ社 社長 片岡 紀二
米国南カルフォルニア/エル・セントロ
〈メキシコ国境〉 在住2年

年間を通じて毎日、太陽がさんさんと照り輝く、米国カリフォルニア州南東部に位置する小さな田舎町、エル・セントロのハイスクール内のテニスコートが私に週末の楽しみを与えてくれます。

エル・セントロはメキシコ・メヒカリ市と国境を挟んで隣り合わせに位置しているため、住民の大半はメキシコから移民してきたメキシコ系アメリカ人です。

私のテニス仲間は陽気で、親切な彼等です。毎週土曜日の朝8時過ぎに三々五々、仲間が集まってきます。ほぼ先着順にコートに集まり、1組、2組とシングルスが始まります。最後はダブルスで締めるのが通常のプレー振りです。

ところが、10月26日の土曜日は初めて別メニューの試合を行いましたので、皆様にご紹介します。当日は良い天気でしたが、風が少しあって絶好のテニス日和とは言えませんが、参加者12人は勝利を目指して最後まで健闘しました。

試合方法

所謂デビスカップ形式の全員参加の対抗戦です。

1. 参加者全員を6人ずつ2チームに分ける。
毎週のシングルス試合結果に基づき、No1(白組)、No2(紅組)のキャプテンを選出し、残りはくじ引きにより白赤組にそれぞれ2チームに組み分けします。
2. 組み分けした後、各組キャプテンは実力順にA組3人B組3人を決めます。
3. 白赤組それぞれ、A組3人が1セット6ゲーム先取で、リーグ戦を行います。
4. 一方、B組3人も同じように1セット6ゲーム先取で、リーグ戦を行います。
5. 但し、deuceの場合はレシーブ側に選択権が与えられ、フォアかバックサイドのいずれかを選択し、ワンポイントで決着がつく形式です。
6. シングルス終了後はダブルス戦です。
白赤チームが3ペアを作り、総当たりリーグ戦を行います。試合は1セット6ゲーム先取で、シングルスと全く同じです。

私は白組 シングルスNo3 ダブルスNo2に出場し、戦績は4勝2敗で白組の勝利に多少貢献できました。参加者は皆、勝利に向け真剣にプレーをします。従って、6ゲームといえども各人実力が接近している為、かなりのエネルギーを使い、試合が進むにつれ疲れが増し、最後のダブルスが終わると全く足が立たないくらいでした。

すべての試合終了後、バーベキューで舌鼓を打ちます。家族も参加して、わいわいがやがや、各人は自分の戦績を自慢話に話が弾みます。残念ながらハイスクールの校庭のため、アルコール類は一切だめで、大好物のビールを飲むことが出来なかったのが唯一の心残りでした。

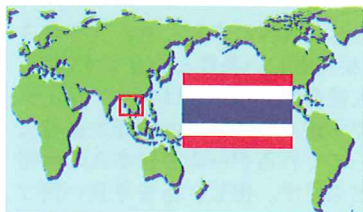
打感、飛び、振動吸収——全てに優れた高性能。
それが、ネイチャーズバイオガット



バイオガット ポリマルチ16
TS 820 ¥4,500



アンナも絶賛!



「タイは暑い。」

平木 義和 三井物産(株) 社員

皆さんご存知の通り今年4月にバンコクで行われたデ杯では日本選手の多くがタイの異常な暑さで体調不良となり、本来の力が発揮できないまま終わってしまいました。

しかし、そんな過酷な環境ながらタイのテニスのレベルは決して低くありません。より正確に言えば、タイのトッププレーヤーのレベルはプロ、アマとも日本と同等ないし高い水準です。人口も少なく、経済的にも決して豊かではない、南国タイがどうしてそんなに強いのか？その秘密は、貧富の差の激しい社会構成と少数精鋭主義のタイテニス協会の取組み姿勢にあると言っても過言ではありません。

もともとテニスの底辺が広がっていないタイにおいては、日本以上にプロを目指すジュニアを育てていくのは大変で、多大な時間とエネルギーとコストが必要です。実態としては米国等へテニス留学をさせているケースが多いわけですが、そんなことが出来るのはほんの一握りの金持ちだけです。タイにもアメリカンドリームばりのサクセスストーリーが無いわけではありませんが、テニス界に限って言えば実質NOです。また、留学組以外で、将来のプロを見据えてジュニアの時から英才教育を受けているのは、タイ全土でわずか数十名

ですが、彼らもまた富裕層の子弟ばかりです。その限られた候補生達に対し、タイのテニス協会はオーストラリア、ニュージーランド等から招聘した優秀なコーチをあてがひ、まさに少数精鋭での徹底した指導を行っています。もともとタイ人の身体能力は高く、ムエタイ(タイボクシング)選手に代表されるように、柔らかく且つバネのある筋肉と持久力を有しています。こうした素材に徹底した個人指導が加わり15、16才でその才能は開花していきます。

現在、男子ではパラドンが、女子ではタマリンが30位程度のランキングをキープし、メジャー大会の常連になっていますが、これに続くジュニアがしっかり育ってきているわけです。アジア地域では韓国と並び日本の強敵でありつづけることは間違いありません。上記のような状況がゆえにタイにおいてテニスがポピュラーなスポーツとして広く国民に受け入れられるのはまだまだ相当先になると思います。

バンコク市内には多くのテニスコートやテニスクラブがありますが、90%以上が外国人の為のものであり、タイ人が楽しめるような施設は皆無に近い状況です。但し、こうした外人向けテニスをサポートしているのは、ノッカー(球出しだけをする人)上がりのタイ人テニスコーチです。殆どテニス理論らしいものは身につけていませんが、ボール拾いから始めて、幼少の頃からテニスボールと戯れ、慣れだけでコーチにまでなった連中です。従って、技量的にもたいしたことはありませんが、1時間わずか500~1,000円で個人レッスンが受けられるのは魅力的で、こうしたタイ人コーチは、駐在日本人の奥様を始めとする外国人テニス愛好家にはひっぱりだこです。

1年中暑くテニスとは無縁との印象の強いタイですが、日本人を中心とする外国人にとっては、思いもかけぬテニス天国と言えりのかも知れません。

SRI システムズ



パソコンPOS機能搭載！

テニスクラブ・スクール業務運用パソコンソフトウェア

運用を強力にサポートする、最新の機能

- POSレジ一体型のフロントシステムで、フロントの省力化を支援
- 優れた操作性で、オペレーションのストレスを解消、担当者の余分な負担軽減
- リライトカード型会員証は、ポイントカードの運用も可能
- 豊富に用意されたテキストデータ出力で、自由なデータ加工を応援
- 口座振替システムで、会費やスクール料の回収管理を簡単かつ正確に実現
- お客さま用タッチパネルによる来場受付で、フロント対応業務を軽減
- 送迎バス利用者管理・託児室利用者管理など豊富なサブシステムで、運営を効率化

テニスクラブ・スクール経営のベストパートナー

社団法人 日本テニス事業協会推薦

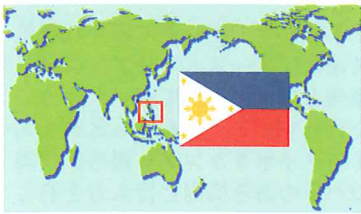
スマッシュクラブ

(社)日本テニス事業協会特別賛助会員

株式会社エス・アール・アイ システムズ

●営業部/078-265-3103 ●東京支店/03-5560-6091

mail:sales@srisys.co.jp ホームページ http://www.srisys.co.jp



「フィリピンのテニス事情と日本・・・ アディンとアダウ」

松本 重敏
岡山県東京事務所

フィリピンでテニスを常時楽しもうとするには、欧米でも同じだろうと思いますが、スポーツ・クラブのメンバーになることが必要です。

入会金と月会費はフィリピンの一般庶民にとってはかなり高額で、会員は必然的に中流以上の家庭にならざるを得ませんが、企業から派遣される日本人はかろうじてこの中流に入るのではないかと思います。

近年フィリピンではマルコス以降民主化が大きく進展し、超富裕層が少なくなると共に富裕層がスペイン系から中国系に移った結果、昔に比べテニス人口は一段と減少したようで1960年代の勢いは失われています。プロの定義は良く分かりませんが、少なくともツアーで世界を渡り歩く、或いは渡り歩けるプレーヤーは殆どいません。

最上にランクされるのはデ杯に出場する選手で、殆どが米国留学組です。

私が駐在していた1980年代終～90年代初期には、当時日本のNo. 1であった松岡修造選手と肩を並べる選手がフィリピンには二人（Felix Barrientos選手とRoland So選手）いて、戦力が松岡選手ただ一人の日本とのデ杯戦では、この二人だけで対応し、大勢でやって来る日本デ杯チームを計算通り（松岡選手との勝敗はさておき、残りのシングルス2試合、ダブルス1試合は確実に取れる）打ち破っていました。

二人とも米国留学組で裕福な家庭に育っていますが、非常に仲が良く、生活や練習を共にし、完璧なパートナーシップを作り上げていましたし、クラブにも二人一緒に現れて、気軽にメンバーの相手もやり、非常に身近な存在でした。

クラブにはメンバーの必要に応じゲームや練習の相手をしてくれるトレーナーと称する人（通常クラブでのたたき上げで公式資格をとった人）とボールを拾い、ジャッジしカウントをコールするボール・ボーイ（小中学生の年齢）が付属しています。

トレーナーは一応テニスで生活を支えているのでプロと言えますが、生活は楽ではなさそうで、暫く顔が見えないと思うとサウジヤバーレーンに行つて米国人相手のトレーナーをやつて稼いで来たと言うケースが多数ありました。

メンバーはボール・ボーイ（ボール拾いとカウント・コール）を大抵二人使ってゲームや練習をしています。ゲームはメンバー同士或いはトレーナー相手のシングルスが圧倒的に多く、日本人が好んでプレーするダブルスは多くはありません。

通常ボールを3個使ってゲームや練習をしますので、日本で見られる2個入りの缶詰は需要がなく、クラブで販売されていませんし、市販もされていません。

マニラでは太陽が強く、表面が乾燥し割れてしまうので、クレイ、ローン、ケミカルコートにはお目にかかれず、ハード及びシェルが主流で、転ぶとすりむき程度の傷は必ずする羽目になります。

灼熱と強烈な太陽を避けるため、殆どのクラブが屋内コートを持っていますが、デ杯が行われるナショナル・コートは

炎天下のハード・コートでASEANは未だしも、プラス3（日中韓）の選手にとっては相当厳しい条件となります。

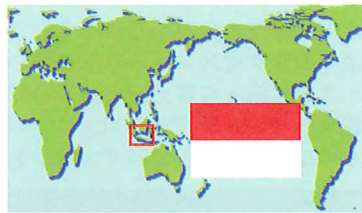
フィリピンにおける日本人社会のスポーツはゴルフが圧倒的でテニス人口はマイナーですが、テニスでは国際大会並にボール・ボーイがアテンドしてくれるゲームを日本人の所得水準であれば楽しむことが出来ます。但し、あまり長い間フィリピンでテニスをする、日本に帰って暫くはボールを自分で拾おうとせず、飲み物も自分で取りに行こうとせず、カウントすら採らなくなっている自分に出会う事になります。

ところで表題にあるアディン・アダウを15年前にボール・ボーイのコールではじめて聞き、デュースになるとフィリピンでは奇妙で意味不明なことを言うなと驚きました。

皆様はお聞きになった事ありますか？かなり前から米国ではその様にコールされていたと見えて、米国帰りの友人が数名がこの様にコールするのを帰国後聞き、フィリピンが米国から輸入した言葉と分かりました。

日本でも使い始まっているファイブ・サーティ、スリー・フォーティなどのコールもこの類と思われます。日本も公式戦以外はこの様なコールがそろそろはやるのでしょうか？

ご存知の事とは思いますが、アディンはAD-IN / Advantage in（即ちfor server）、アダウはAD-OUT / Advantage out（即ちfor receiver）を意味します。長つたらしいコールではなく簡潔で面白いと思います。



「インドネシアテニス事情」

インドネシア在住 高橋敏雄
PT. EXOR-IOSCO 副社長
インドネシア・ジャカルタ在住、約4年半
December 7 th, 2002

今回はインドネシアのトップランクのプレーヤー、インドネシアのジュニアプレーヤー、そして日本人のテニスプレーヤーについて書いてみようと思います。

1. 今年の春に或るスポンサーによるインドネシア・オープンがHilton Tennis Clubで開催された。男子は直前にデ杯で2-3とニュージーランドに惜敗した選手とTop 20が全て出場している。海外からの参加はなかった。賞金額は小さいのである。6千万ルピアと金額の桁は大きい6千ドル相当である。シード1は中国系Suwandiだったが、注目されたのはニュージーランド戦でダブルスを取った21歳、20歳のペアのFebi Widhiyanto, Hendri Pramonoである。どちらも190cm近い長身で、サービスは破壊的である。

この大会でダブルスはもとより、シングルのファイナルも二人で戦った。Hilton Tennis Courtは全面ハードコートで13面ある。筆者はHiltonに在住だから、見物には好都合である。

インドネシアのデ杯選手の記憶といえば、筆者の年齢が分かるが、田園での加茂・宮城時代で、小柄ながら柔らかいテニスで、特にドロップショットに冴えがあった。今の時代、長身で破壊的サービスの選手は隔世の感がある。将来性は高い。女性では既に世界で活躍しているAngelique（ウィンブルドン・ジュニアでデビュー）、Prakusyaは海外遠征中で出場しなかったが、注目されたのはJuniorが一般に交じって堂

々と試合をしていた事である。後記する Fed. Cup Junior に出場していたので、後にそのことが分かったのだが、彼女達は 14 歳、16 歳以下だったのである。一般を相手に強打そのもので実に歯切れが良い。体格もジュニアとは言え、肉感的で逞しい。大事なポイントで私にとっては無謀(?)にもめくら減法バシンと打つのである。当然ながら必然的にミスも多くなるが、エースを取った時の観衆の歓声は悲鳴に近い。やはり誰かが世界で活躍しているとジュニアは自然と刺激されて活気が出ると感じた。しかし、総じてインドネシア人の体格は小さい方である。

話しは飛ぶが犬猫、更に蚊までもなぜか全て動物は小粒である。暑いからエネルギー消費を効率的にしていると勝手に思っている。一方植物は葉、花、果実、全て大きい？。

寒い国の人は身体も大きいし、喧嘩にも向いていると思うが、現代では北欧は平和そのものだし、身体の小さい当国はテロが跡を絶たないのは皮肉な事である。

Angelique も長身である。時々 Hilton に現れてコーチ相手に練習をしているが最早世界のスターで貫禄さえある。まだ 20 歳。タイのパラドンに続くのは多分彼女だろう。

2. さて 7 月には Fed. Cup Junior のアジア予選があって、日本からは 14 歳以下は溝口監督、2 週間遅れて 16 歳以下は米沢監督が選手とジャカルタ入りした。会場はスナヤンで当地の奥さん方が手分けして連日選手におにぎりを差し入れた。暑さもさることながら無菌の保育器で育てているジュニアの体調に気を配ったのである。

予選は 16 カ国、前年のシード順に 4 ブロックに分かれ、各ブロックの 1, 2 位が決勝トーナメントに残るのである。シングルス×2、ダブルス×1 で試合はノーアドバンテージ方式。勝ち残った 4 カ国がパリの本選へ出場する。日本は 14 歳以下は予選で敗退、16 歳以下は 2 位で予選通過するも次の韓国戦で 1-2 と敗れ涙を飲んだ。

豪州、インド、台湾、韓国が強く順当だったが、インドネシアは地元の利もあったが 16 歳以下では決勝進出を惜しくも逃したが、堂々とパリ出場を果たした。先に述べたインドネシア・オープンにも出場していた選手が主体で試合経験も豊かで一人一人が個性があり、但し 1 球 1 球に対する集中力と競ったときの根性は、日頃仕事を通じて当地の人と接している感じとはまったく別物で、勝負に賭ける執念も日本選手と雲泥の差があった。感情を表に出さず淡々とダブルフォルトを繰り返すよりはファイト剥き出しで勝負に拘るインドネシアジュニアは見物していて感動を覚えた。

3. 最後に日本人の当地でのテニス動向は年 1 回の日本人大会があるが、今は壮年に入ってしまったが、元オールジャパンの中嶋氏が連続優勝しその後は出場を辞退している。ジャカルタでは仲間が集い、グループ毎に Lasna, Senayan, Hilton、その他でテニスを楽しんでいる様であるが、前記の大会で、中嶋氏優勝の前後も Hilton から優勝者が出ているのでレベルは高い方なのかもしれない。

Hilton では中嶋氏と Hilton No. 1 の Hitting Partner を加えて、土曜日の 4 時から 6 時まで定期的にテニスを楽しんでいる。4 時からの意味は殆どの人が午前をゴルフに費やすからである。

日本ではちょっとゴルフとテニスを 1 日で消化するのは考えられないが、ここでは可能なのである。勿論テニスコートにはボール・ボーイもいる。テニスの後は日本と同じくビールで咽喉を潤し、時には 2 次会へ繰り出すこともある。専用の運転手を抱えているから飲運運転の心配は無い。

当地の治安は悪いことで有名だが、在住者にとっては大事件が連続しているものの、昔から覚悟の上であり、今更あまり気にせず暮らしている。来年の日本 Fed. Junior が本選出場を果たすこと、そしてインドネシアの若い選手達が世界に羽ばたつことを祈念して筆を置くことにします。



「カナダのテニス事情」

公文 康博

カナダの西海岸に位置するバンクーバーは英国風の街並みと自然が見事に融合した日本人にも人気の高い観光地です。私はハワイに行く前の数年間をここで過ごしました。

冬が長いバンクーバーでは屋外でのテニスシーズンは 4 月下旬から 11 月初旬までと短く、冬はインドアでのプレーになります。

夏の軽井沢のような気候が続くバンクーバーには多くのパブリックコートがあり誰でも無料で気軽に楽しむことができます。カナダの夏は白夜とまではいきませんが、夜の 10 時ぐらいまで明るいので、テニスに限らずスポーツ好きな人にとっては最高の環境です。

ダウンタウンの中心街から徒歩圏内にあるスタンレーパークには 30 面近くのコートがあり、多くのテニス愛好家が集まってきました。ここではスタンレーカップトーナメントというプロも出場するような大きな大会が夏に開催されます。かつては海外遠征中の日本のプロも参加して優勝したりしています。

オープンの他にレベル別の大会も同時開催されているので私も参加したことがありますが、特にカナダテニス協会のメンバーでなくても参加できますし、エントリーするレベルも自己申告制でした。各地から参加して来るだけあってドロウも大きく勝ち上がっていくのは大変です。

バンクーバーが一番混み合う夏休みシーズンは、30 面のうち 8 面だけは有料コートになります。1 面 1 時間 5 ドル程度で確実に希望する時間が確保できるので、忙しい人には好評です。時間がたっぷりある人は無料コートが空くの待ちます。

基本ルールは 4 5 分交代、誰も待っていないければ何時間でもできますが、誰かがコートサイドで待ち始めたら、それから 4 5 分経った時点で交代しなければいけません。ゲームはダブルスが中心で、ハワイのようなローカルルールもなく、国際ルールに従って行われます。

さすが伝統を重んじるブリティッシュの気風でしょうか。スタンレーパークのコートサイドには壁打ちもあるので、1 人で行っても壁打ちをしている人に声をかけると気軽に応じてくれるので助かります。2, 3 回通えば顔見知りも増えてきて相手探しには苦勞しなくて済みます。私がいた当時はバンクーバーに住む日本人同士でテニスを楽しむ会があり、週に 1 回、コート 4 面を借り切ってゲームをしていました。引っ越してきたばかりの私にとってカナダ生活の先輩の皆さんとのテニスはいい気分転換になりました。

テニスのプレースタイルが、環境によってどう変わるかは興味深い話題ですが、私の感じたところでは、ハワイの人達がパワーとスピードに頼ったテニスをするのに比べて、カナダの人達はゲーム戦略やプレースメントなどにこだわる傾向があります。ダブルスではセンターセオリーを忠実に守り、ロブやドロップショットなど面白いタイミングで使ってきます。そう言えば、グラント・コンネル、グレン・ミチバタ、ダニエル・ナスターなどカナダの選手にはダブルスの名人が多いような気がします。

11 月後半になるとバンクーバーは長い雨季に入り

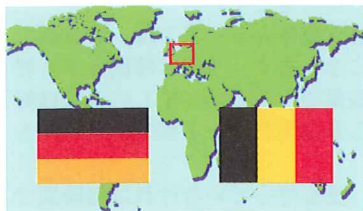
ます。この時期からはインドアテニスになるのですが、インドアのパブリックコートは数えるほどしかなく、冬でもテニスをしたという人はテニスクラブに加入することになります。カナダのテニスクラブは入会金に5千ドル近くかかり、決して庶民にとっては簡単に入れる世界ではありません。英国の伝統の名残りでしょうか、上下白を基調、エリのあるテニスウェアなどという規則が守られています。冬でもテニスができるというのはバンクーバーではちょっとしたステータスなのです。

バンクーバーでもカナダテニス協会（実際の運営は州のテニス協会）が主催するリーグ戦が行われます。各テニスクラブが主体となってチームを作るので、どちらかというところテニスクラブ対抗戦といったところ。毎週末相手チームのクラブを訪ねてのリーグ戦は、真剣な中にも和気藹々とした雰囲気があり、試合が終わった後は敵味方交えてお茶とケーキで歓談会です。

テニスをしようと思ったらハワイ同様、まずはパブリックコートで自由気ままにプレーします。そして、もっと基本を身につけたい、上手くなりたいと真剣に考えるようになったら、テニスクラブのレッスンを受けることになります。面白いことにテニスレッスンのプログラムは冬の方が盛んです。

夏はキャンプやゴルフ、フィッシング等々、やりたいことがいっぱいあるのでしょう。日本人スキーヤーに人気の高いウイスキーでは夏の間、有名プロによるテニスクリニックが開催され、カナダだけでなく、シアトルやサンフランシスコからも参加者がやってきます。

常夏のハワイでいつでもテニスができる環境はありがたいのですが、時々ドライブでからっとしたカナダの青空の下でのテニスも懐かしく思い出します。夏のカナダを訪れる機会がありましたら、是非スタンレーパークまで散歩してみてください。



「ドイツ及びベルギーでのテニス一般事情」

テニスプレーヤーズクラブメンバー（在ブラッセル）
ベネルックス三井物産（株） 小出 敦

1999年12月ドイツのデュッセルドルフに転勤となり2年8ヶ月滞在の後、2002年8月ベルギーのブラッセルに転勤となり現在に至る。

両国に滞在して思った事はとにかくテニスを楽しむ環境が大変恵まれているという事である。テニスコート（屋外、屋内）が身近に多くあり、手軽で安価にプレー出来る。両国とも街に多くのテニスクラブがあり、同クラブには家族で所属するケースが多く、ジュニアから年配者迄テニスを楽しむ。

クラブハウスには、プレー終了後の一杯を楽しむメンバーは勿論の事、カードゲームに熱中する人、或いはサッカーの試合をTV観戦する人等が居て、メンバーの憩いの場となっている。

ドイツではクラブどうしのリーグ対抗戦も年1回ありジュニアから、成人、30歳以上、40歳以上、50歳以上で様々なチームを設け技を競い合っている。私の妻も所属クラブの?歳以上のチームNo.2で参加していた。又いわゆる草ト

ナメントにはクラブ所属の上、IDナンバーを得なければ原則エントリーが出来ない。試合結果がポイント制でカウントされて行き、成人男子の場合は12の実力ランキングにグループ分けされる。そして自分のランキングに見合ったグループのトーナメントにエントリーする事となる。

西欧の国々でのテニスシーズンは4月から10月。屋外は通常アンツーカーのコートが多く、これはクラブメンバーになると使える。11月から3月はインドアコートを借りてプレー。インドアコートは非メンバーでも一年中プレー可。同コートのサーフェイスはドイツはカーペット、ゴムチップが多く、ベルギーはオールウェザー、アンツーカー等が多い。従ってシューズも何種類か必要となる。

デュッセルドルフもブラッセルも日本人のテニス愛好家が多く、口コミ、E mailや日本語情報誌等により仲間を募り、テニスコートを定期的に借りて集まって練習やゲームを楽しむ。又多くのご婦人やお子さん方がテニスクラブ所属のコーチのプライベート又はグループレッスンを受けている。日本に多い誰もが参加出来るテニスクールは少ない。

デュッセルドルフには日本人が約6000人と多く、総人口の1%にもあたる。ブラッセルは総人口120万人に対し日本人は0.2%の約2500人程度。そのせいかデュッセルドルフでは、ドイツ人と日本人とのテニスを通じての交流も深いように思えた。

私の所属していたクラブでも、日独交流試合、Party等が年一回は開催されていた。

日本人会の活動はデュッセルドルフもブラッセルも同様、定期的に日本人同志の試合を開催しており、（ドイツでは私も妻と組んだMixで優勝させて頂いた）又毎年6月にはオランダ、ベルギー、ドイツの日本人クラブのチームで三国対抗戦を行っている。

又、プロの試合を見るチャンスにも恵まれており、デュッセルドルフでは毎年5月ワールドチームカップ（男子国別対抗トーナメント、単2本、複1本）が開催されている。

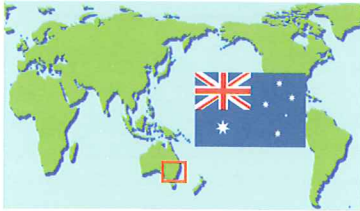
時期がフレンチオープンの前週であり、又コートサーフェイスもフレンチオープン同様アンツーカーでもある事から、サンブラス、カフェルニコフ、ローディック等多くの有名選手も参加する。爽やかな春の気候の下、美味しいビールとソーセージを頬張りながらの試合観戦は毎年の楽しみ。

又、ウィンブルドン、フレンチオープン等にも足を伸ばし観戦に行かれている日本人の方も多い。

ドイツで特に感じたのは、最近テニスを始めとするジュニアのスポーツの練習時間が少なく、同国のスポーツ界の行く末が少々心配である。又、特にベッカー・グラフの引退後テニスに対するジュニアの熱意がかなり薄れた感がある。因みに私の長男・次男が通っていた元ドイツ杯監督のテニスクールの生徒の中でレベルの高かったジュニアの大半はロシア、スペイン等から来ていたテニス留学生達だった。一方ベルギーはクライスタス、エナン等の大活躍により、ジュニアの間ではテニスが大人気で多くのジュニアが練習に試合に精を出している。やはりスーパースターの存在の有無がその国のテニス環境に与える影響はとても大きいと感じる。

日本から遠征に来られたジュニアの方々をTPCのメンバーとして出来る範囲内でご支援させて頂いているが、（ジャーマンジュニア選手権等）海外で日本選手が活躍されるのは勿論の事、遠征から日本に戻られて更になんか活躍される姿はとても嬉しいものである。今後共少しでもジュニア選手の皆さんのお役に立てればと思っている。

私はこれ迄、過去米国（6年）、泰国（6年）での滞在中にも、又、現在の欧州滞在中でも、テニスラケット一本で多くの友人を得て、プレーを大いにEnjoy出来、そして健康に過ごせておる事に心より感謝している。



「テニスパラダイス」

佐藤 直子

日本航空(株) 社員夫人

滞在地 : オーストラリア シドニー

滞在期間 : 1995年—1999年

私達家族5人が住んでいたのは、オリンピックでもお馴染みになった、シドニーハーバーブリッジを渡って30分ほどのノース地区でした。シドニー市内からほんの少ししか離れていないのですが、辺りにはユーカリの大木が生い茂り、至る所に公園がありました。

そこにはオーバルと呼ばれる広い芝地(ここでは冬はクリケット、夏はオージーラグビーをしています)そして必ずと言ってよほどテニスコートがありました。

コートはほとんどが公共の施設で、簡単な手続きで私達も使うことができました。使用料も安く、2時間で400円ぐらいだったでしょう。

初めは知り合いも少なく、もっぱら主人や子供達と散歩がてらコートに出かけていたのですが、少しして日本人会のテニスクラブに入れて頂き、ここでたくさんのテニス仲間ができて、楽しく過ごすことができました。

日本ではテニススクールに入っていたので、シドニーでも

と思い探したのですが、子供向けのテニスクャンプはあっても、大人向けのは見つかりません。習いたい人は個人レッスンを頼んでいると聞いたので私も友達3人と、月2-3回コーチを頼んでももらいました。シドニーはテニスのベストシーズンがありません。一年中ベストなのです!

夏はさすがに暑いですが、ユーカリの木陰に入ればあっという間に汗もひいてしまいます。

シドニー滞在中、私のテニス人生(ちょっとオーバーですが)を大きく変えたのがアマチュアトーナメントへの参加でした。シドニーでは毎週何処かで草トーナメントが開かれていて、レベルも初心者から上級者向け、賞品もタオルから現金と、試合内容も個人、団体と本当に様々なタイプの試合が行われていました。

私が参加したのは、3人1組の団体戦で、一人でダブルス2試合とシングルス1試合を戦うものでした。この試合に出ている驚いたのは、試合会場には必ず託児所があり、生後数ヶ月の赤ちゃんから3歳ぐらいの子供達が、お母さんの試合のお供に来ていたことです。誰でもが参加できる環境が出来ていることに感心しました。

ある日、私達が対戦したグループの中の一人で、ぷっくりとお腹の出ている若いオーストラリア人がいたのですが、試合が終わって話をしていたら、「暫く試合はお休みだわ、来月赤ちゃんが生まれるの!」なんと彼女は妊娠9ヶ月の妊婦プレーヤーだったのです。さすがオージーパワーと仲間3人何故か納得していました。

オーストラリアに滞在した4年間は、オーストラリアオープンをはじめ色々な国際試合も観戦することが出来、自分自身も試合に参加するという素晴らしい体験が出来た最高の海外生活でした。またいつかあの青い空の下でラケットを握る日が来ることを夢見て今日も練習に励んでいます。

ONO
ARCHITECTURAL OFFICE
CO.,LTD.

やわらかな発想で、新たな価値を創造します。

私たちは、トータルな建築集団です。高い技術にこだわり、環境・デザイン・機能性・コストパフォーマンスなどあらゆる角度から考え、既成にとらわれないやわらかな発想から様々な建築物を提案してまいりました。新たな価値を創造し、社会に貢献できることをさらに目指し、前進してまいります。

株式会社小野建築設計事務所

- 本社 兵庫県姫路市南八代町5-20 Tel.0792-92-1234
- 大阪事務所 大阪市福島区福島1-4-40-903 Tel.06-6453-2345
- 神戸事務所・岡山事務所

テニスドーム業務実績

- ノアインドアステージ加古川
- ノアインドアステージ西宮(改修)
- ノアインドアステージブルーマウント
- ノアインドアステージ宝塚
- ノアインドアステージ東大阪
- H15年秋、関東地方にてオープン予定
- ニッケテニスドーム名古屋
- ニッケテニスドーム一宮
- ニッケテニスドーム岐阜
- ニッケテニスドームみなと
(仮称/H15年10月オープン予定)
- H15年秋、名古屋東部にてオープン予定



【役員名簿 第6期】

役 職	氏 名	(選出組織・所属名)
会 長	雑賀 昇	(推薦：社団法人スポーツ産業団体連合会)
副 会 長	内藤 昇	(関東テニス事業協会：武蔵野ローンテニスクラブ)
	// 中澤 寛義	(関東テニス事業協会：千葉田園テニスクラブ)
	// 吉田 宜正	(近畿テニス事業協会：江坂テニスセンター)
常務理事	増井 範男	(関東テニス事業協会：金町テニスガーデン)
理 事	植谷 嘉孝	(推薦：株式会社ダンロップスポーツ)
	// 叶野 良昭	(推薦：社団法人スポーツ産業団体連合会)
	// 大西 雅之	(近畿テニス事業協会：ノアインドアステージ株式会社)
	// 大野 康夫	(推薦：株式会社妙高プロスキースクール)
	// 大矢 佳正	(推薦：大矢建設株式会社)
	// 岡田 達雄	(推薦：特定非営利活動法人グローバル・スポーツ・アライアンス)
	// 岡本 幸士	(中四国・九州地域：株式会社スポーツユニオン)
	// 蒲生 清	(北海道・東北地域：インドアテニスセンター ウィング)
	// 小泉 茂	(関東テニス事業協会：野火止テニスクラブ)
	// 小西 一三	(推薦：テニスプレーヤー)
	// 島村 晃一	(中部地域：ロラン・ギアロ倶楽部)
	// 鈴木 和恵	(推薦：サントリーフーズ株式会社)
	// 千代 公夫	(関東テニス事業協会：千代テニスクラブ)
	// 高松 滋	(推薦：高松法律事務所)
	// 蝶間林利男	(推薦：横浜国立大学)
	// 徳田 孝一	(関東テニス事業協会：メディカルテニスクラブ)
	// 尚山 吉二	(近畿テニス事業協会：西の丘ローンテニスクラブ)
	// 中嶋 康博	(推薦：VIP・TOPグループ)
	// 野田 敏夫	(関東テニス事業協会：関町ローンテニスクラブ)
	// 平林 良仁	(推薦：株式会社船井財産コンサルタンツ)
	// 前田 実	(推薦：日本オリンピック委員会)
	// 正木 茂	(推薦：特定非営利活動法人ショートテニス振興会)
	// 益山 茂	(推薦：株式会社少年写真新聞社)
	// 松岡 修造	(推薦：プロテニスプレーヤー)
	// 松原 雄二	(関東テニス事業協会：東戸塚松原テニススクール)
監 事	青木 明夫	(関東テニス事業協会：宇都宮サンテニスクラブ)
	// 浅海 安義	(関東テニス事業協会：新座ローンテニスクラブ)
	// 飯田 恭次	(推薦：社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会)
参 与	中沢 保夫	(社団法人日本テニス事業協会 前副会長)
顧 問	石原 伸晃	(衆議院議員)
	// 小野 清子	(参議院議員)
理事待遇	加藤 哲郎	(神奈川県会長：亀の甲山テニスクラブ)
	// 小浦 武志	(兵庫県会長：テニステクニカルアカデミー)
	// 関根 榮一	(与野テニスクラブ)
	// 高山 雄	(京都ロイヤルテニスクラブ)
	// 富岡 信也	(山梨県会長：エストテニスクラブ)
	// 内藤 奨哲	(岩手県会長：モリオカロイヤルテニスクラブ)
	// 中山 和政	(緑ヶ丘テニスガーデン)
	// 野田 兼惟	(善福寺公園テニスクラブ)
	// 藤本 正行	(阪奈和会長：スポーツスクエア スターサップ)

社団法人日本テニス事業協会の概要

【委員会および部会】

日本テニス事業協会には、総務委員会・組織委員会・税制委員会・広報委員長・研修委員会・競技委員会・事業委員会・テニスの日特別委員会・地域テニス振興特別委員会の各委員会が設置されています。

また、オーナー部会・マネージャー部会・スクール部会・コーチ部会の各部会が設置されています。

【地域協会事務局】

関東テニス事業協会 TEL.04-7129-1055 川間グリーンテニスクラブ内 宮田 健一郎
近畿テニス事業協会 TEL.075-955-6001 梅華学院インドアテニススクール内 石井 知明

【地区協会事務局】

北海道テニス事業協会 TEL.011-815-2510 SPORTS FIELD Carrot 内 和田 寿明
岩手県テニス事業協会 TEL.0196-38-2050 フジサワテニスクラブ内 藤澤 育夫
栃木県テニス事業協会 TEL.028-688-1520 アウリンテニスクラブ内 篠崎 崇
埼玉県テニス事業協会 TEL.048-473-6421 朝霞グリーンテニスクラブ内 高橋 茂夫
千葉県テニス事業協会 TEL.04-7174-8733 光ヶ丘グリーンテニスクラブ内 鈴木 公夫
東京都テニス事業協会 TEL.03-5991-8001 善福寺公園テニスクラブ内 野田 兼惟
神奈川県テニス事業協会 TEL.045-364-1333 希望が丘テニスクラブ内 山田 五月
山梨県テニス事業協会 TEL.0552-22-1530 エストテニスクラブ内 富岡 信也
静岡県テニス事業協会 TEL.054-278-3261 千代テニスクラブ内 大山 正信
愛知テニスクラブ連盟 TEL.052-895-2430 T E Gインドアテニススクール内 瀬戸 弘美
三重県テニス事業協会 TEL.0596-27-3066 (有)アレックス 渡辺 祥哉
京都府テニス事業協会 TEL.075-391-2899 ヴァルブランシュテニスクラブ内 駒田 晋吾
阪奈和テニス事業協会 TEL.06-6338-1472 江坂テニスセンター内 武田 整
兵庫県テニス事業協会 TEL.0797-22-2014 仁丹テニスガーデン芦屋内 北條 正夫
広島県テニス事業協会 TEL.082-292-2767 (株)スポーツユニオン内 岡本 幸士

【特別賛助会員】

株式会社エス・アール・アイシステムズ (テニスクラブ・スクール運用ソフト販売等)
大塚製薬株式会社 (医薬品及び健康関連飲料・食品の製造・販売)
サントリーフーズ株式会社 (清涼飲料水及び加工食品の販売)
株式会社ダンロップスポーツ (スポーツ用品メーカー)
有限会社ネットイン (インターネット関連全般)
株式会社ボーストジャパン (BOAST/GEAR/HYDEEブランド企画・製造・卸・小売・通販)

【協力賛助会員】

太陽工業株式会社 (大型膜面構造物の設計・施工)
東京ウェルネス株式会社 (テニス施設・インドアコート・スポーツ施設設計・施工)
東京海上火災保険株式会社 (損害保険全般)
株式会社ピー・アール・オー (テニスクラブ・スクール運用ソフト販売等)
ホクエツ印刷株式会社 (印刷業)

【賛助会員】

アメアスポーツジャパン株式会社 (スポーツ用品製造・販売)
株式会社イーウエル (従業員福利厚生メニューの開発・提供)
株式会社小野建築設計事務所 (建築設計・監理)
特定非営利活動法人グローバル・スポーツ・アライアンス (スポーツを通じた地球環境保全活動)
株式会社ゴーセン (テニス用品製造・販売)
ゴーツスポーツ (屋外スポーツ器材・備品の販売及びメンテナンス)
株式会社新光トレーディング (スポーツサーフェイス輸入販売、施工管理)
ジャパンリスコムマネージメント株式会社 (生命保険・損害保険代理店)
スポーツサーフェス株式会社 (テニスコート設計・施工)
体育施設建設株式会社 (テニスコート・インドアコート企画・設計・施工)
ダイワ精工株式会社 (スポーツ用品の製造ならびに販売等)
地業建設株式会社 (テニスコート施行)
中録サービス株式会社 (音と映像に関するパッケージメディアのプロダクト事業)
長永スポーツ工業株式会社 (スポーツ施設の企画・設計・施工)
東亜ストリングス株式会社 (テニス・バトミントン・スカッシュのストリング製造・販売)
東レ株式会社 (人口芝製造メーカー)
日本毛織株式会社 (テニスコートサーフェスの製造販売)
日本ラケットストリンガーズ協会 (ストリング技術の普及)
ミズノ株式会社 (総合スポーツメーカー)
ヨネックス株式会社 (テニス用品メーカー)

社団法人日本テニス事業協会

10周年

おめでとうございます

北海道テニス事業協会
インドアテニスセンターウイング
代表 蒲生 清

東京都テニス事業協会
金町テニスガーデン
代表 増井 範男

東京都テニス事業協会
関町ローンテニスクラブ
代表 野田 敏夫

千葉県テニス事業協会
千葉田園テニスクラブ
代表 中澤 寛義

神奈川県テニス事業協会
あざみ野ローンテニスクラブ
代表 川口 清

阪奈和テニス事業協会
江坂テニスセンター
代表 吉田 宣正

広島県テニス事業協会
株式会社スポーツユニオン
代表 岡本 幸士

静岡県テニス事業協会
千代テニスクラブ
代表 千代 公夫

愛知テニスクラブ連盟
名古屋グリーンテニスクラブ
代表 大矢 金太郎

京都府テニス事業協会
西の丘ローンテニスクラブ
代表 尚山 吉二

兵庫県テニス事業協会
ノアインドアステージ株式会社
代表 大西 雅之

埼玉県テニス事業協会
野火止テニスクラブ
代表 小泉 茂

神奈川県テニス事業協会
東戸塚松原テニススクール
代表 松原 雄二

東京都テニス事業協会
VIP・TOPグループ
代表 中嶋 康博

埼玉県テニス事業協会
ブレントウッドラケットクラブ
代表 大野 峯子

東京都テニス事業協会
株式会社正木企画
代表 鶴飼 勝則

東京都テニス事業協会
武蔵野ローンテニスクラブ
代表 内藤 昇

千葉県テニス事業協会
メディカルテニスクラブ
代表 徳田 孝一

三重県テニス事業協会
ロラン・ギアロ倶楽部
代表 島村 晃一

「協会の今後について」

社団法人日本テニス事業協会

副会長 内藤 昇



社団法人日本テニス事業協会の設立10周年に際し、日頃感じている一端を述べてみたいと存じます。

まず、協会の発展には会員の増強が必要であります。協会の啓発、情報公開をたえず怠ることなく続け、下部組織の地方協会と力を併せ積極的に会員加入を進め、組織の充実を企むことが不可欠であります。

又、設立当初はメンバークラブ経営の会員が主体でありましたが、次第にテニススクール経営の会員が増加し、その比重が高まっています。同じ資格で共にテニスを介してサービス業に携わっている両者であります。その経営形態、経営方針には多少の差異が見られます。

しかし、テニスの普及発展を図り、経営の安定を共通の目標として、お互いの立場を尊重理解し、情報交換を密にして、相互扶助を深め、それぞれの経営基盤を固める努力をすることが必要であると存じます。

スポーツなかんづくテニスは、プレーヤーに爽快感、充実感を与え豊かな人間性を育むにも役だっております。このように生涯スポーツとも言えるテニスを楽しむ場を提供し、愛好者に親しまれている我々テニス事業者は、誇りと自覚を忘れずに、私どもにとっては消費者であるテニスプレーヤーのニーズに報いることが我々の大きな使命であると考えています。

しかし、昨今はその消費者のニーズも多様化し、我々テニス事業者の個々での対応には限界が見られる場合が出てきているように思います。

私ども事業協会は、当初から消費者であるテニス愛好家に満足感を得て頂くためにはどうすべきかの諸々の課題についてオーナー、マネージャー、コーチ並びにスタッフを対象とした各種のセミナー、研修会を開くとともに、経営に影響を受けている外的な公営コート、税制問題にも取り組み、相応の成果を収めてきております。

これらの活動については、改めて10周年を迎えるのを契機に心を新たにし会員が心一つにして関連諸団体と連携を保ち、真摯な活動を続けて、会員、協会、強いてはテニスの普及発展に寄与することを期待して私の所感といたします。

編集後記

テニス事業に関わる事業者の更なる発展を期して、業界の先人の方々が社団法人日本テニス事業協会を設立してから早10年、この間、関連諸官庁を始め応援下さった顧問の先生方、テニスに関わる諸団体、多くのメーカーの方々、当協会会員の皆様、テニス愛好家の方々等々、皆様の暖かいご支援やお叱りをいただきながら今日を迎えることが出来ました。今までご支援を賜りました方々に深く感謝する次第です。

今回、我々のその10年を振り返り、更なる10年を意義あるものにしようと、ささやかながらこの小冊子を編集致しました。今回の小誌の編集に当たりまして、多くの皆様のご協力を頂きましたことを深く感謝致します。

また今回は10周年記念号ということで、当協会の理事を務めて頂いている方々の関係しておられるテニス事業者の方々からご協賛を頂きましたこと、改めて御礼申し上げます。

JTIA News! 2003.Vol.25「10周年記念特別号」

発行：社団法人日本テニス事業協会

発行日：平成15年2月17日

発行責任：雑賀 昇

編集責任：大野 康夫(広報委員長)

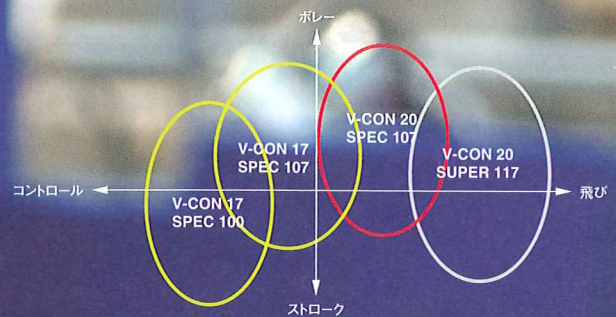
発行所：TEL.03-3346-2007 FAX.03-3343-2047

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-8-3 小田急明治生命ビルB1

http://jtia-tennis.com E-mail: mails@jtia-tennis.com



ヒンギス、No.1へ。 快適バイブレーション・コントロール。



「3層ハイブリット構造」(特許出願中)



セラミックアロイ (特殊金属) エラストマー (振動吸収材) カーボン



ヒンギス使用

SPEC 100
ストローク
プレーヤー向け
100inch²

SPEC 107
ダブルス
プレーヤー向け
107inch²

各¥33,000(消費税別)フルラケットケース付

バイブレーション・コントロール・シャフトが
打ち応えのある打球感とシャープな飛びを実現。

ヒンギス使用のVコン17は、快適振動数150ヘルツの「3層ハイブリット構造」。不快な振動・衝撃のみを減らし、打ち応えのある打球感と威力のあるシャープな飛びを実現しました。

気持ちのいいテニスをしよう。

V-CON 17

新発売

素材/高弾性カーボン+エラストマー+セラミックアロイ カラー/シトラスグリーン 適正テンション/45~60ポンド
サイズ/SPEC 100: G1・2・3 (275~290g)、HG 2・3 (290~305g)、SPEC 107: G 1・2・3 (275~290g)

ヨネックス株式会社 東京/03-3836-1221 大阪/06-6768-7261 名古屋/052-323-5541 仙台/022-232-1221 福岡/092-472-8751 www.yonex.co.jp

最適ストリング



ATG850
¥2,500

ATG850S
¥2,800



PEPSI-COLA®

PREPARED UNDER AUTHORITY OF PEPSICO INC., N.Y., U.S.A.

のんだあとはリサイクル ホームページアドレス <http://www.pepsi.co.jp>

製造・販売 サントリー株式会社/サントリーフーズ株式会社